



取扱説明書 HUSQVARNA CEORA™

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。



JA, 日本語

目次

1 安全性	4.7 全般 (Bluetooth® のみ)	29
1.1 安全性の定義.....	4.8 セキュリティ.....	29
1.2 一般的な安全注意事項.....	4.9 Automower® Connect (Bluetooth® のみ)	30
1.3 設置の安全注意事項.....	4.10 メッセージ.....	30
1.4 操作のための安全注意事項.....	4.11 芝刈りプロファイル.....	30
1.5 メンテナンスのための安全注意事項.....	4.12 無線ファームウェアのダウンロード (Firmware over the air FOTA).....	30
1.6 バッテリーの安全.....		
1.7 本製品の持ち上げと移動.....		
2 はじめに	5 Operation (操作)	
2.1 サポート.....	5.1 本製品をオンにする.....	31
2.2 製品の説明.....	5.2 本製品の始動方法.....	31
2.3 システムの説明.....	5.3 動作モードの選択方法.....	31
2.4 システムの概要.....	5.4 appDrive	31
2.5 ドライブユニット CEORA™ 544/546 EPOS の製品概要.....	5.5 作業エリアの選択.....	31
2.6 カットングデッキ CEORA™ RZ 43L/43M の製品概要.....	5.6 駐車動作モード.....	32
2.7 チャージステーション CEORA™ CS4 の製 品概要	5.7 メンテナンスポイントでの [Park (駐車)] 動作モード.....	32
2.8 コントロールパネルの概要.....	5.8 本製品の停止方法.....	32
2.9 本製品の LED インジケータ.....	5.9 本製品をオフにする.....	32
2.10 製品に表記されるシンボルマーク	5.10 バッテリーの充電.....	32
2.11 バッテリーのマーク	5.11 ホイールブレーキを解除して本製品を移 動する方法.....	33
2.12 アプリ内の記号.....		
2.13 取扱説明書全般.....		
3 Installation (設置)	6 メンテナンス	
3.1 はじめに - 設置.....	6.1 はじめに - メンテナンス.....	34
3.2 設置用の主要部品.....	6.2 メンテナンスのスケジュール.....	34
3.3 設置準備.....	6.3 カットングデッキをサービスポジション にする方法.....	36
3.4 リファレンスステーションの設置場所につ いて	6.4 カットングデッキを切断位置にする方法.....	36
3.5 チャージステーションの設置場所について.....	6.5 製品の清掃.....	37
3.6 地図上のどこに物体を設置するかを検討する	6.6 ブレードおよびブレードディスクの交換.....	37
3.7 本製品の設置.....	6.7 ホイールブラシの調整.....	38
4 設定	6.8 バッテリー.....	39
4.1 スケジュール.....	7 トラブルシューティング	
4.2 システムチェック芝刈りの使用方法.....	7.1 はじめに - トラブルシューティング.....	40
4.3 刈高.....	7.2 故障メッセージ.....	40
4.4 パターン.....	7.3 情報と警告メッセージ.....	48
4.5 動作.....	7.4 チャージステーションの LED インジケー タランプ	48
4.6 アクセサリー.....	7.5 症状.....	49
	8 搬送、保管、廃棄	
	8.1 輸送の安全注意事項.....	52
	8.2 本製品の保管方法.....	52

8.3 バッテリーの輸送.....	52
8.4 廃棄.....	52
9 主要諸元	
9.1 主要諸元.....	55
9.2 登録商標.....	58
10 日本市場に適用可能	
10.1 コンプライアンス要件.....	59

1 安全性

1.1 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

1.2 一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。後で参照できるように保管しておいてください。
- 本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人や子供、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。
- 本製品には、Husqvarna から推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。
- 人（特にお子様）や動物が作業エリアにいるときには、本製品を決して使用しないでください。
- 本製品の損傷および車両や人身事故を防ぐため、公共の道路や通路を横断するような作業エリアや輸送経路を設置しないでください。
- 人が本製品に気づかないような場所では、本製品を使用しないでください。
- 本製品が公共の場所で動作する場合は、作業エリアに警告標識を設置する必要があります。標識には次のテキストを含める必要があります。警告! ロボット芝刈機! 機械に近づかないでください! お子様を近づけないでください!
- appDrive を使用して本製品を手動操作しているときに、走らないでください。必ず歩き、斜面では足を確保し、常にバランスを保つようにしてください。appDrive を使用して本製品を操作していると

きは、必ず丈夫な靴と長ズボンを着用してください。

- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険な部品には触らないでください。
- 詰まりを解消する前、メンテナンスまたは検査を行う前や、製品が異常に振動し始めた場合は、本製品をオフにしてください。本製品を再起動する前に、損傷がないことを点検してください。損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- 負傷や事故が発生した場合は、医師にご相談ください。
- 本製品が芝刈りを行う場所にメインケーブルを敷設しないでください。「*Installation (設置) 15* ページ」を参照して、メインケーブルを設置する際の指示に従ってください。設置は、サービス担当者が行う必要があります。
- 損傷したケーブルやプラグを接続したり、電源から切断する前に損傷したケーブルに触れたりしないでください。動作中にケーブルが損傷した場合は、電源コンセントからプラグを外します。消耗または損傷したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。損傷したケーブルはサービス担当者が交換する必要があります。
- メインケーブルをコンセントに接続する場合は、トリップ電流が最大 30 mA の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。
- 本製品は付属のチャージステーションでのみ充電してください。バッテリーを安全に廃棄する方法については、「*廃棄 52* ページ」を参照してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水/中和剤で洗い流します。腐食性の液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。
- Husqvarna が推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正バッテリー以外を使用した場合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。
- 「*Installation (設置) 15* ページ」を参照して、作業エリアの指定方法やカッティングデッキなどのアタッチメントの取り付け方法が記載されている設置の指示に従ってください。
- 本製品の始動と操作に関する手順に従ってください。参照： *Operation (操作) 31* ページ。
- 雷雨の危険性がある場合、Husqvarna は、電気部品の損傷を防ぐためにメインケーブルとチャージステーション間、および電源ユニットとリファレンスステーション間の接続を外すことをお勧めします。雷雨の危険がなくなったら、メインケーブルと電源を再度接続します。
- 保守手順に従い、必要に応じて Husqvarna 純正のスペアパーツを使用します。「*メンテナンス 34* ページ」を参照してください。
- 質量、寸法、騒音排出値などの主要諸元については、「*主要諸元 55* ページ」を参照してください。

- 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故または危険の責任を負います。
- 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者のみが行ってください。
- 本製品の設計に変更を加えてはいけません。
- 電気的安全性に関する各国の規制に従ってください。
- Husqvarna は、リモコンや無線送信機などの他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。
- 内蔵アラームが大音量で鳴ります。本製品を室内から操作する場合は、特に注意が必要です。
- 動作時、充電時、および保管時の温度は 0~45 °C/32~113 °F です。1 ヶ月を超える長期保管時は、温度が 0~25 °C/32~77 °F でなければなりません。

1.3 設置の安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 人がつまずくおそれがあるエリアには、チャージステーションを設置しないでください。
- チャージステーションおよびアクセサリは、可燃物から 60 cm (24 インチ) 以内の場所には設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。
- アリなどの害虫や害獣がいない場所にチャージステーションを設置してください。
- 米国/カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合：感電のおそれがあります。必ずアタッチメントプラグキャップを抜き差しできる耐候性のエンクロージャを備えたクラス A GFCI レセプタクル (RCD) に取り付けてください。
- 水が溜まるおそれがある場所に、チャージステーションを設置しないでください。

1.4 操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。電源がオンの場合は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。
- 人、特に子供や、動物などが作業エリアにいるときは、駐車モードを使用するか、本製品をオフにしてください。「本製品をオフにする 32 ページ」を参照してください。Husqvarna は、作業エリアにアクティビティがない場合に動作するように本製品を設定することをお勧めします。本製品は、夜に作業エリアでハリネズミなどの動物を負傷させる原因

となることがあります。「スケジュールされた動作 31 ページ」を参照してください。

- 芝生に石、枝、工具、おもちゃなどの異物がないことを確認します。ブレードは障害物に当たると損傷する可能性があります。
- 本製品がオンに設定されている場合は、持ち上げたり移動したりしないでください。
- 本製品が人や動物に衝突しないようにしてください。人や動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止してください。「本製品の停止方法 32 ページ」を参照してください。
- 本製品、チャージステーション、またはリファレンスステーションの上に物を置かないでください。
- [STOP] ボタンが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- 使用中でないときは、本製品をオフに設定してください。正しい PIN コードを入力した場合のみ本製品を起動できます。
- ポップアップスプリングラーと同時に本製品を使用しないでください。スケジュール機能を使用して、本製品とポップアップスプリングラーが同時に動作しないようにしてください。「スケジュールされた動作 31 ページ」を参照してください。
- ポップアップスプリングラーが設置されている場所に輸送経路を設けないでください。
- 作業エリアに水が溜まっている場合は、本製品を動作させないでください。例えば、大雨で水たまりができています。

1.5 メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- 製品のメンテナンスを行う場合に **OFF** に設定します。
- 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。本製品の清掃には溶剤を使用しないでください。
- チャージステーションの清掃またはメンテナンスを行う前に、チャージステーションのプラグを抜いてください。

1.6 バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発したり火災を起こす原因となります。慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電氣的機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。

1.7 本製品の持ち上げと移動



警告： 本製品を持ち上げる前に、オフに設定する必要があります。

- 本製品を作業エリアに安全に出入りさせるには、本製品を手で持ち上げるか、appDrive を使用して操作してください。「本製品を手で持ち上げる方法 6 ページ」および「appDrive 31 ページ」を参照してください。

1.7.1 本製品を手で持ち上げる方法



警告： 本製品を持ち上げるには、2 人で作業する必要があります。

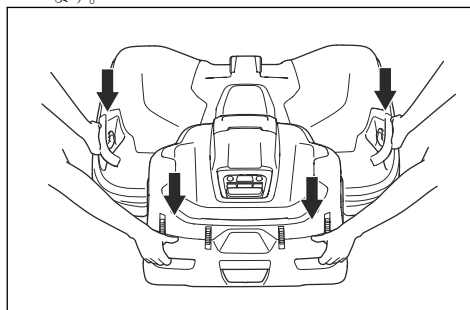


注意： チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品が損傷するおそれがあります。

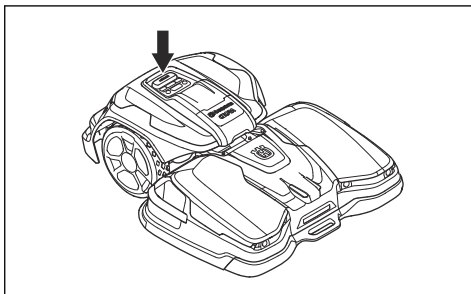


注意： フロントハンドルを持って本製品を持ち上げないでください。

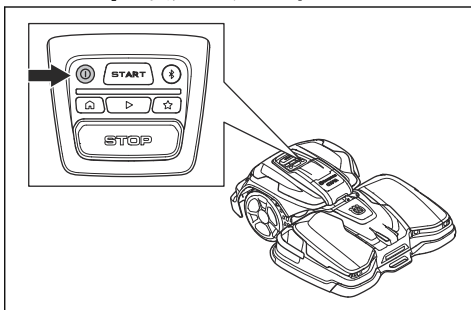
- 製品を持ち上げる前に、チャージステーションから本製品を引き出します。
- カッティングデッキ側面のハンドルとドライブユニット後部のハンドルを使用して、製品を持ち上げます。



- STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



- 本製品をオフにします。「本製品をオフにする 32 ページ」を参照してください。



2 はじめに

製造番号：

PIN コード：

シリアル番号は本製品の銘板とカートンに記載されています。

2.1 サポート

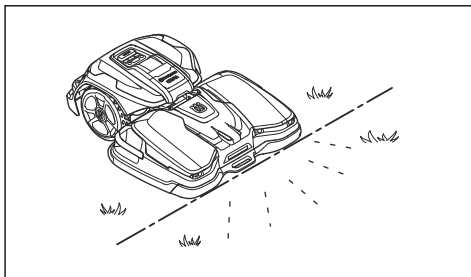
本製品のサポートについては、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

2.2 製品の説明

注記： Husqvarna は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。「サポート 7 ページ」を参照してください。

本製品は、ドライブユニットとカッティングデッキを備えたロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、自動的に動作します。本製品は、バッテリーの充電残量が低下するか、作業エリアの芝刈りが終了するまで動作し、チャージステーションに移動します。本製品の動作は、広いエリアの芝刈りを十分に行えるように規則的なパターンになっています。

本製品が動作する作業エリアは、仮想境界によって指定されます。仮想境界に近づくとき、本製品の衛星受信機がそれを検知します。



2.3 システムの説明

EPOS™ を使用して仮想境界を設置する場合、本製品は、衛星と修正データを使用して移動します。修正データ

は、Husqvarna® Cloud またはリファレンスステーションを介して受信します。リファレンスステーションは、Husqvarna® Cloud に接続できない場合に使用できるオプションのアクセサリです。リファレンスステーションは、リピータとして操作でき、リファレンスステーションのネットワークを作成します。リピータは、より広いエリアで使用できます。

注記： 一部の国および地域は、リファレンスステーションまたは Husqvarna® Cloud を介した修正データに対応していません。詳しくは、最寄りの Husqvarna 販売店までお問い合わせください。

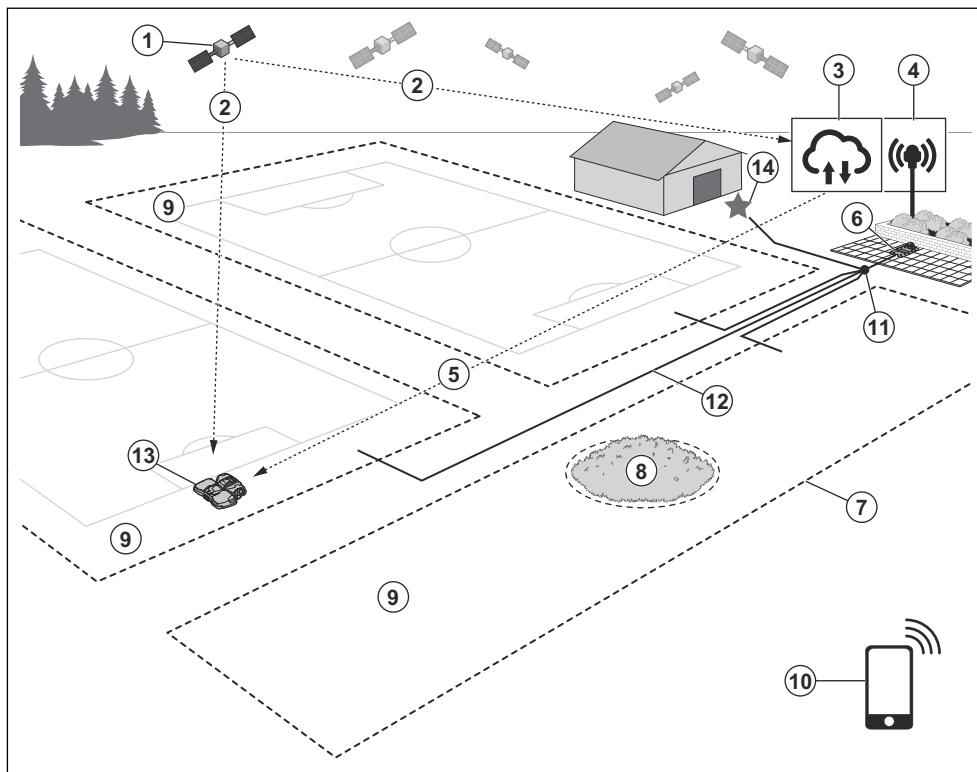
設置するため、本製品はアプリ内の appDrive を使用して操作します。通過点が追加されて、アプリ内の地図が作成されます。作業エリアとは、本製品が作動し、芝を刈るエリアです。本製品が入れない進入制限ゾーンを作成することもできます。チャージステーション前部にはドッキングポイントがあります。これは、本製品がチャージステーションとの間を移動するために使用されます。ドッキングポイントと作業エリアの間を移動するには、輸送経路が必要です。輸送経路を移動する際に、本製品は芝を刈りません。「システムの概要 8 ページ」を参照してください。

2.3.1 接続性

Husqvarna Fleet Services™ は、アプリおよび Web (www.husqvarna.com) で利用できるクラウドソリューションです。すべての製品を Husqvarna Fleet Services™ に追加して、製品の概要を把握したり、製品を管理したりできます。「」を参照してください。

Automower® Connect は、本製品の設置および操作設定の選択に使用できるアプリです。「Automower® Connect 22 ページ」を参照してください。

2.4 システムの概要

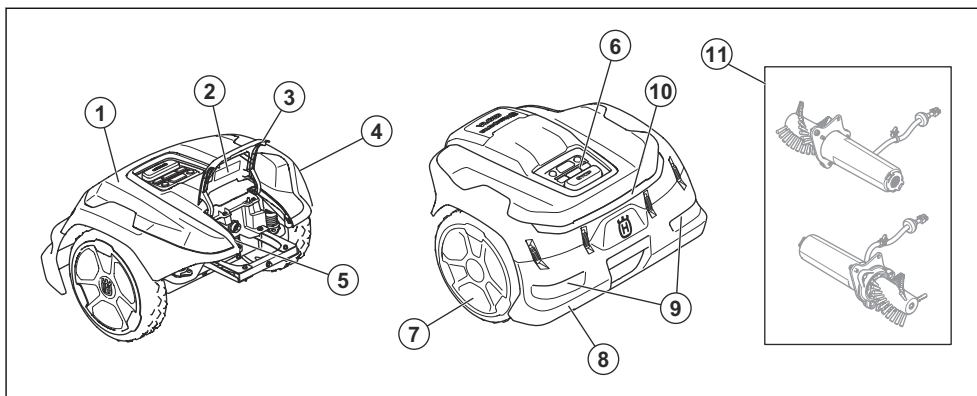


- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 衛星 | 9. 作業面積 |
| 2. 衛星信号 | 10. モバイルデバイス ² |
| 3. Husqvarna® Cloud | 11. ドッキングポイント |
| 4. リファレンスステーション ¹ | 12. 輸送経路 |
| 5. 修正データ | 13. ロボット芝刈機 |
| 6. チャージステーション | 14. メンテナンスポイント |
| 7. 仮想境界 | |
| 8. 進入制限ゾーン | |

¹ オプションのアクセサリ（別売）。

² 同梱されていません。

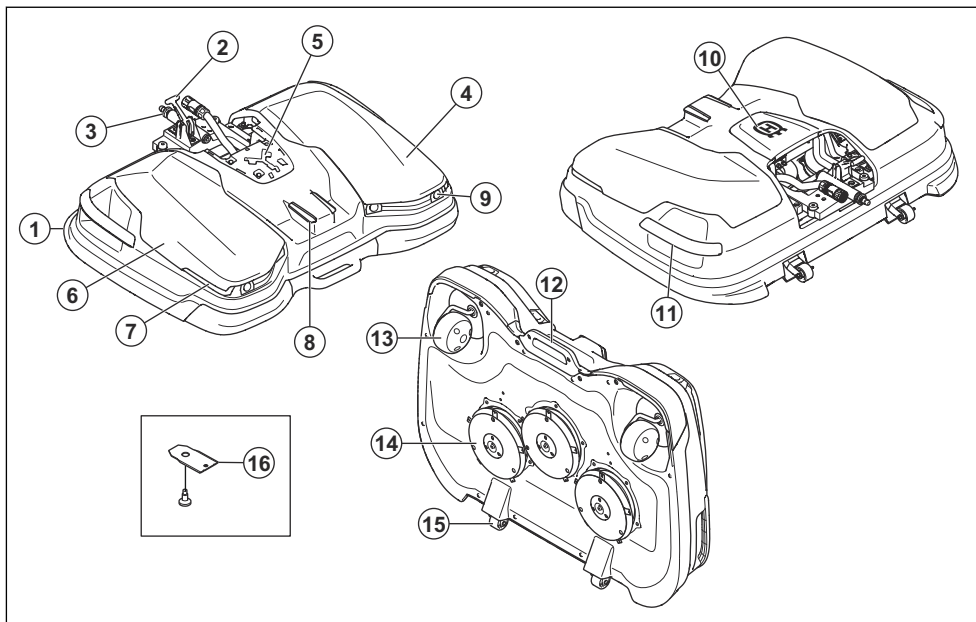
2.5 ドライブユニット CEORA™ 544/546 EPOS の製品概要



- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 1. ドライブユニット (DU) | 7. 駆動ホイール |
| 2. ドライブユニットのシリアルプレート | 8. リヤバンパー |
| 3. ハッチ | 9. リアハンドル |
| 4. ドライブユニット本体 | 10. リヤセーフティライト |
| 5. サービスツール用 USB 端子 | 11. アクティブホイールブラシキット ³ |
| 6. コントロールパネル | |

³ 一部の市場やモデルでは付属していますが、そうでない場合はアクセサリとして使用できます。

2.6 カuttingデッキ CEORA™ RZ 43L/43M の製品概要

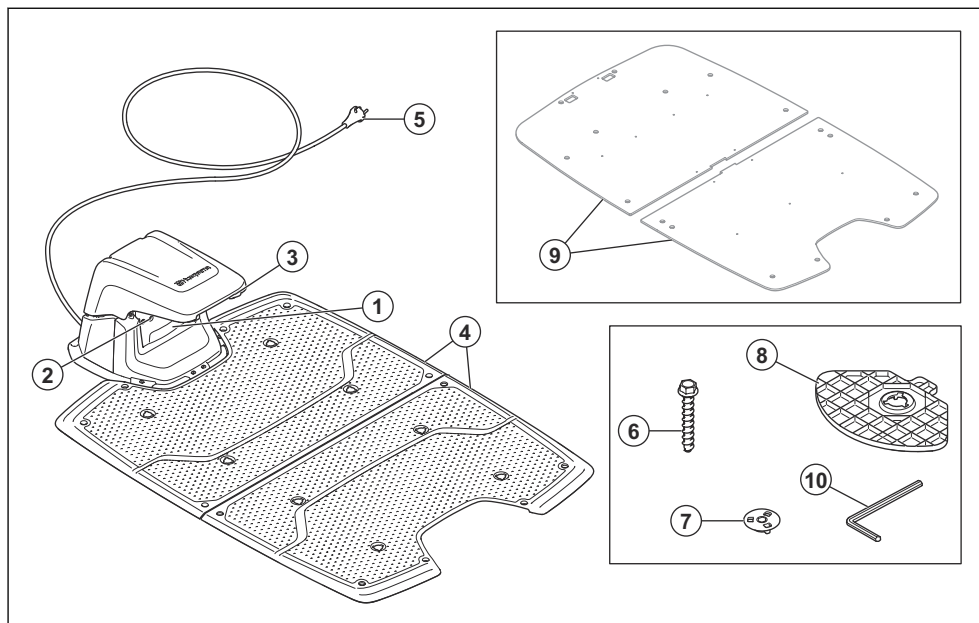


- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. カuttingデッキ (CD) | 10. 中央上部カバー |
| 2. レバー | 11. サイドハンドル |
| 3. シャフト | 12. フロントハンドル |
| 4. カuttingデッキのシリアルプレート ⁴ | 13. フロントホイール |
| 5. コンピツール ⁵ | 14. ブレードディスク、ブレード、スキッドプレート |
| 6. カuttingデッキ本体 | 15. サービスホイール |
| 7. フロントセーフティライト | 16. ブレードとネジ |
| 8. チャージプレート | |
| 9. 超音波センサー | |

⁴ 上部カバーの下にあります。

⁵ 中央上部カバーの下にあります。

2.7 チャージステーション CEORA™ CS4 の製品概要

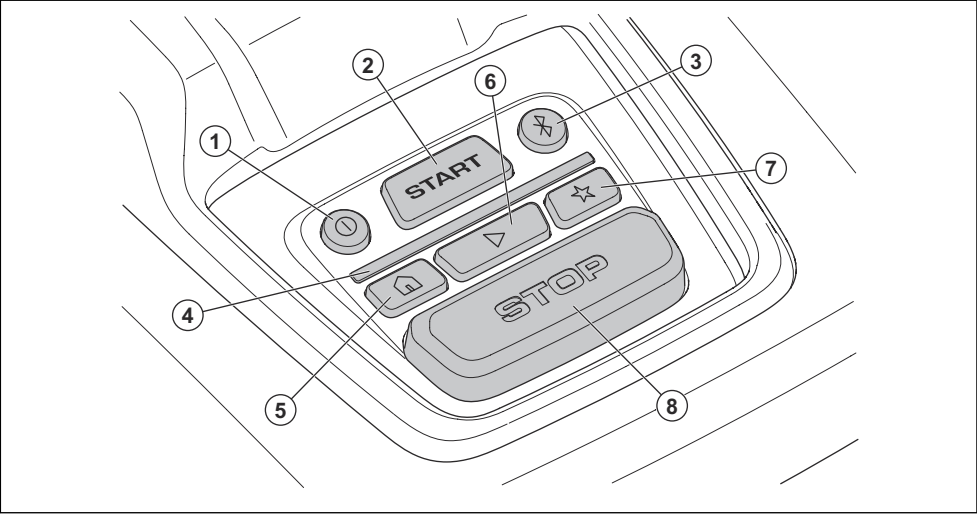


- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1. チャージステーションのシリアルプレート | 7. カップリング |
| 2. チャージステーションのLED インジケータ | 8. サポートプレート |
| 3. 接触板 | 9. 柔らかい場所用のサポートプレート ⁷ |
| 4. ベースプレート | 10. 六角レンチ |
| 5. メインケーブル ⁶ | |
| 6. チャージステーション取り付けネジ | |

⁶ 外観は市場によって異なる場合があります。

⁷ アクセサリーとして使用できます。

2.8 コントロールパネルの概要



1. ON/OFF ボタン

2. START ボタン

3. Bluetooth® ボタン

4. LED インジケータ

5. 駐車ボタン
6. 実行ボタン

7. メンテナンスポイントボタン

8. STOP ボタン

2.9 本製品の LED インジケータ

本製品のコントロールパネルにある LED インジケータには、現在の製品状況が表示されます。

LED インジケータ ライト	製品状態
緑色に点灯	本製品が芝刈りをしているか、チャージステーションから移動しています。
緑色に脈動点滅	本製品が稼働開始の準備をしています。
緑色に点滅	本製品が <i>[Pause (一時停止)]</i> モードになっています。
赤色に点滅	エラーにより本製品が停止しました。
黄色に点灯	STOP ボタンが押されました。
点滅（黄）	本製品を起動するには、PIN コードを入力する必要があります。
青色に点灯	本製品がチャージステーションまたはメンテナンスポイントに移動します。
	アプリが Bluetooth® 搭載の製品に接続されたときは、LED インジケータが 3 秒間青色に点灯します。
青に脈動点滅	本製品がチャージステーションで充電しています。

LED インジケータ ライト	製品状態
青色に点滅	本製品がチャージステーションで停車しています。
	Bluetooth® が有効になり、Bluetooth® を使用して本製品に接続できます。
白色に点灯	本製品が appDrive モードになっています。
白色に脈動点滅	本製品が OFF になっています。
	ファームウェアをインストール中です。
白色に点滅	新しいファームウェアをインストールする必要があります。

詳細説明は、www.husqvarna.com に掲載されています。詳しくは、認定サービス代理店にお問い合わせください。

2.10 製品に表記されるシンボルマーク

これらのシンボルマークは本製品上に表示されています。内容をご確認ください。



警告： 本製品を操作する前に取扱説明書をお読みください。



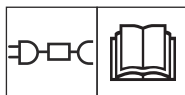
警告： メンテナンスの前、または本製品を持ち上げる前に、本製品の電源をオフにしてください。



警告： 操作中は、本製品から安全な距離を保ってください。本製品の回転しているブレードに手や足を近づけないでください。



警告： 本製品の上に座らないでください。手や足を本製品に近づけたり、本製品の下に入れたりしないでください。



このシンボルの横にある銘板に記載されている、取り外し可能な電源装置を使用してください。



本製品は EU 指令適合製品です。



本製品は UK 指令適合製品です。



本製品は、通常の家庭ゴミとして処分することはできません。国の規制に従い、地域のリサイクルシステムを使用してください。



シャーシには、静電放電 (ESD) に弱い部品が含まれています。シャーシは、必ず認定されたサービス技術者のみが開閉および密閉してください。シールが破損している場合、保証は適用されません。

注記： 本製品に付いている他のシンボル／銘板は、一部の市場地域に向けた認定条件を示します。

2.11 バッテリーのマーク



警告： リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、手荒に扱ったりすると、爆発したり火災を起こす原因となります。水、火、高温にさらさないでください。



取扱説明書をお読みください。



バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源にさらしたりしないでください。



バッテリーは水の中に入れてください。

2.12 アプリ内の記号



本製品が受信する修正データのステータスを示します。

EPOS™ 確認済みのステータスです。本製品の位置と方向が正確な状態です。本製品を自動操作したり、地図オブジェクトを設置したりするのに必要です。



EPOS™ アクションが必要なステータスです。本製品の位置は正確ですが、正確な方向を取得するために、手動または自動で製品を操作する必要があります。



EPOS™ が検索中のステータスです。本製品の位置が正確ではないため、正確な位置を取得するために衛星信号と修正データを検索しています。



2.13 取扱説明書全般

本取扱説明書では、読みやすいように次の表記規則を使用しています。

- 斜体で記載されたテキストは、Automower® Connect アプリもしくは Husqvarna Fleet Services™ アプリのテキストであるか、取扱説明書の別のセクションを参照していることを示します。
- 太字のテキストは、本製品または appDrive のボタンを示します。

3 Installation (設置)

3.1 はじめに - 設置



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

3.2 設置用の主要部品

設置には以下の部品が必要です。

- 自動で芝刈りを行うロボット芝刈機。これには、カッティングデッキとドライブユニットが含まれます。
- 本製品を充電するチャージステーション。これには、100 V 電源コンセントに接続された電源が含まれています。
- リファレンスステーション⁸：衛星信号を受信し、ロボット芝刈機に補正データを送信する。
- 本製品の設置および設定を行うための Husqvarna Fleet Services[™] および Automower[®] Connect アプリを搭載したモバイルデバイス⁹。

3.3 設置準備



注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。



注意： 設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。

- 作業エリアの設置図を作成し、それにすべての障害物を含めておきます。こうすることで、チャージステーション、リファレンスステーション、仮想境界の設置位置の検討が容易になります。
- 写真真に、チャージステーション、リファレンスステーション、メンテナンスポイント、輸送経路、作業エリアと進入制限ゾーンの仮想境界を設置する場所をマークします。
- 不明瞭な物体間の距離については、指示に従ってください。

- Husqvarna[®] Cloud を介して EPOS[™] を使用して設置する場合は、本製品が作業エリア全体で修正データを受信できることを確認します。
- リファレンスステーションを使用して設置する場合は、作業エリアのすべての場所で、本製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信できることを確認します。

注記： リファレンスステーションと本製品の間に物体がある場合、最大距離は減少します。

- 芝生の地面を平らにします。芝生に穴や隆起がないことを確認します。
- 本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は 5 cm / 2 インチ以下にする必要があります。

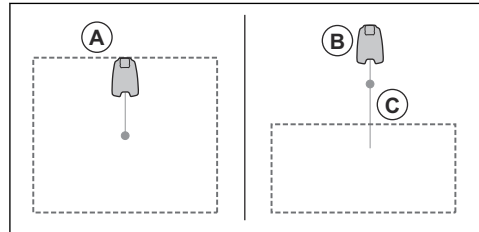
注記： 設置後の最初の数週間は、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

3.4 リファレンスステーションの設置場所について

リファレンスステーションの設置場所に関する指示を読み、理解してください。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。

3.5 チャージステーションの設置場所について

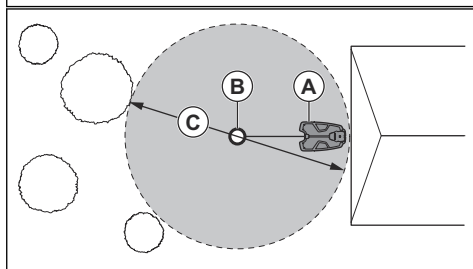
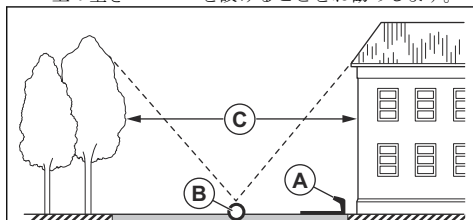
- チャージステーションは作業エリア内に置くことも、作業エリア外に置くこともできます。チャージステーションを作業エリア (A) に設置する場合、輸送経路は不要です。本製品がチャージステーションのドッキングポイントにあるときに、それらが完全に作業エリア内である場合、輸送経路は不要です。チャージステーションとドッキングポイント (B) が作業エリア内でない場合は、輸送経路 (C) を設ける必要があります。



⁸ 同梱されていません。

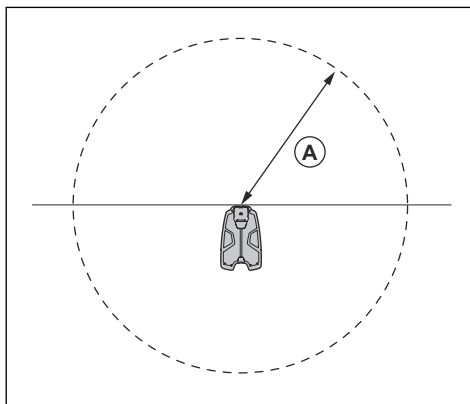
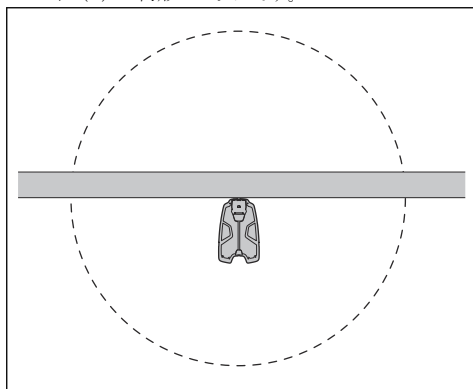
⁹ 同梱されていません。

- チャージステーション (A) は、上空視野を遮るものがないドッキングポイント (B) に設置してください。チャージステーションのドッキングポイント (B) とは、チャージステーションから後退した本製品が停止する場所です。後退距離は **130-220 cm/51-87 インチ** に設定できます。Husqvarna は、チャージステーションの前に **6 m/19.6 フィート** 以上の空きスペースを設けることをお勧めします。



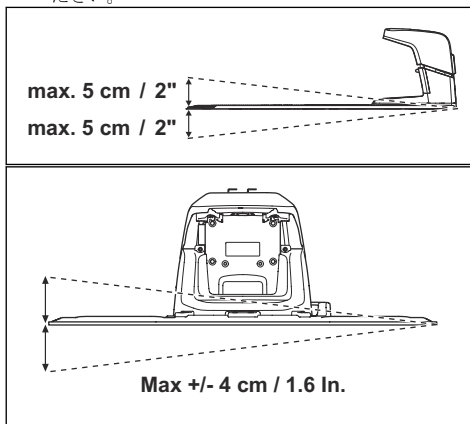
注記： 後退距離が短いと、わだちができるリスクが減少します。ドッキングポイントで良好な衛星信号を受信するには、後退距離を長くする必要があります。

- ドッキングエリアの一部で本製品が動作しないようにするには、高さが **15 cm/6 インチ** 以上の保護壁を設置してください。ドッキングエリアは、チャージステーションの周辺にある半径 **3 m/9.8 フィート** (A) の円形のエリアです。

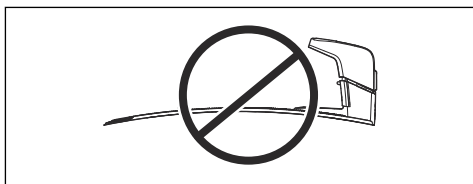


注記： 本製品は、ドッキングエリアにいるときに、チャージステーションの信号を使用してチャージステーションを探します。

- チャージステーションは、コンセントの近くに設置してください。
- メインケーブルを安全に取り付ける方法を検討します。
- チャージステーションを平らな場所 (砂利の上ではない) に置きます。
- Husqvarna では、チャージステーションをコンクリートや同等の硬い場所に設置することをお勧めしています。チャージステーションを柔らかい場所に設置するには、サポートプレートアクセサリを使用します。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。



- チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。



- チャージステーションは、適切な換気のある場所に設置してください。
- チャージステーションは、日光から保護されている場所に設置してください。
- メインケーブルを電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が **30 mA** 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。



注意： 地中に金属製の物体が埋まっている場所にはチャージステーションを設置しないでください。金属製の物体がチャージステーションの信号と干渉する可能性があります。

3.6 地図上のどこに物体を設置するかを検討する



注意： 作業エリアが水域、斜面、崖、または公道に面している場合は、仮想境界に保護壁を設置する必要があります。この保護壁の高さは、**15 cm / 6 インチ**以上にする必要があります。



注意： 本製品は、砂利の上では使用しないでください。



注意： 動作時に異音が発生しないようにするには、樹木や根、石などの障害物をすべて取り除いておいてください。

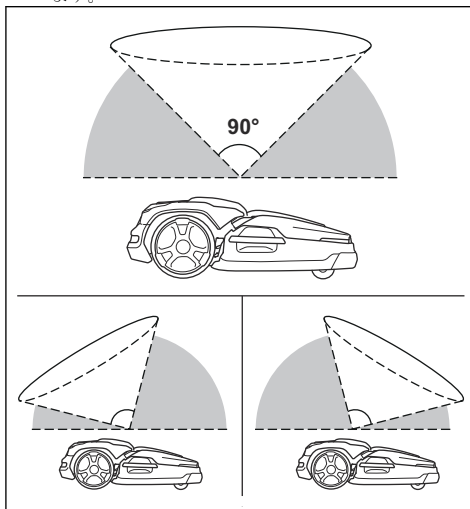
注記： 仮想境界を設置する前に、作業エリアの設置図を作成してください。

- Husqvarna は、チャージステーションから最も離れた設置場所までを最大距離とすることをお勧めします。最大距離は **1000 m/3280 フィート**です。

注記： 斜面や芝が長く伸びた場所があると、最大距離は短くなります。

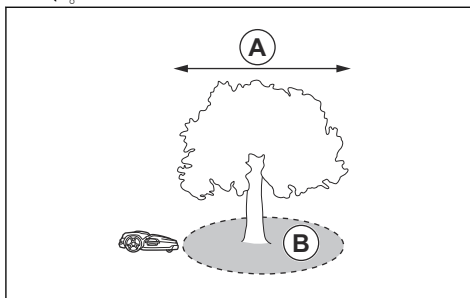
3.6.1 建物や木の近くに地図オブジェクトを設置するには

- 上空の **90°** の部分に遮るものがないことを確認します。



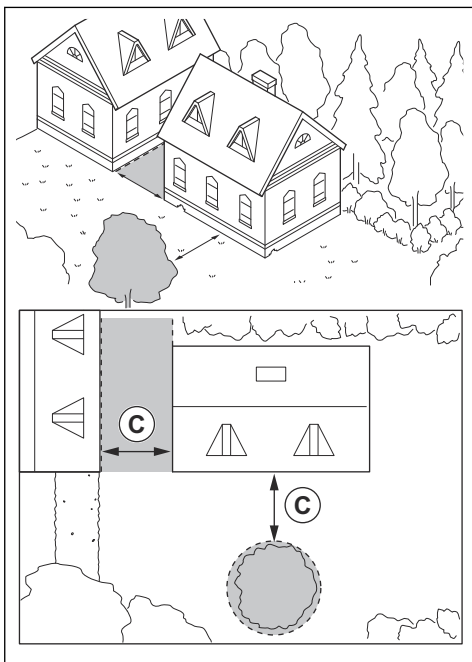
注記： 上空が遮られていると、本製品は、移動に必要な衛星信号を受信できません。

- 直径 **4 m/13 フィート**を超える樹冠がある木や木々の周りには、進入制限ゾーン (B) を設けてください。

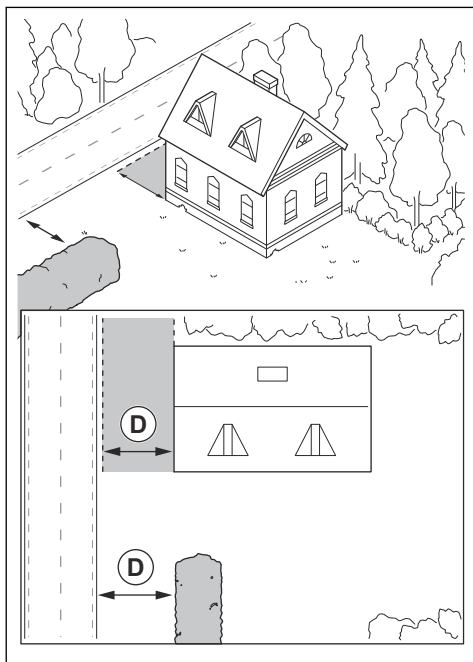


注記： 直径 (A) が **4 m/13 フィート**を超える樹冠がある木や木々により、本製品が一時停止する可能性があります。通常、木が小さければ本製品の動作に干渉することはありません。

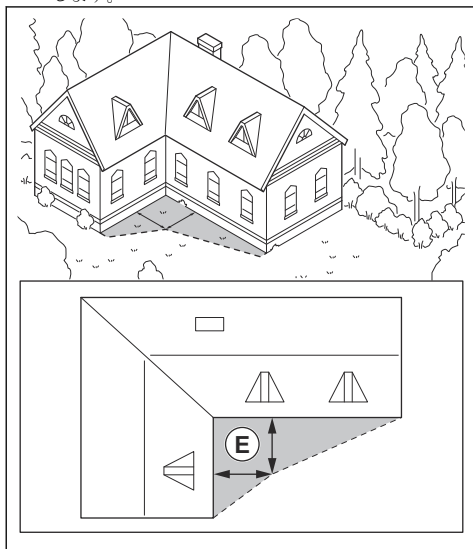
- 建物や木の間のエリアの距離 (C) が **4 m/13.1 フィート**以上であることを確認します。



- 2つの低い物体間、または1つの低い物体と1つの高い物体の間にある経路の最小幅 (D) が、3 m/9.8 フィートであることを確認します。

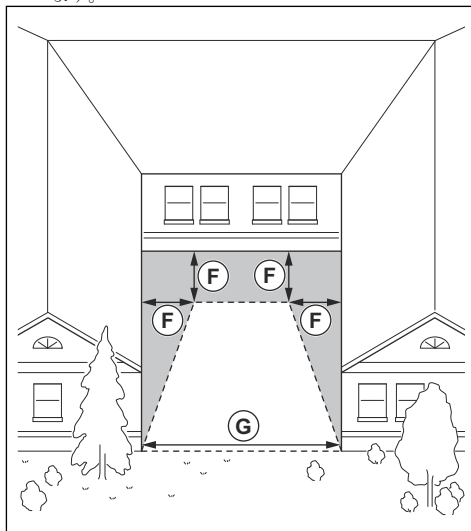


- L字型の建物がある場合は、建物からの距離 (E) が 1.5 m/5 フィート以上の位置に仮想境界を設置します。



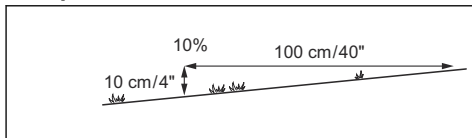
- U字型の建物があるエリアに仮想境界を設置するには、距離 (G) が 6 m/20 フィート以上あることを確認します。建物が 3 m/10 フィートよりも高い場合は、距離 (G) が最も高い建物の高さの2倍で

あることを確認します。建物から 1.5 m/5 フィート以上離れた距離 (F) の位置に仮想境界を設置します。



3.6.2 斜面での地図オブジェクトの設置

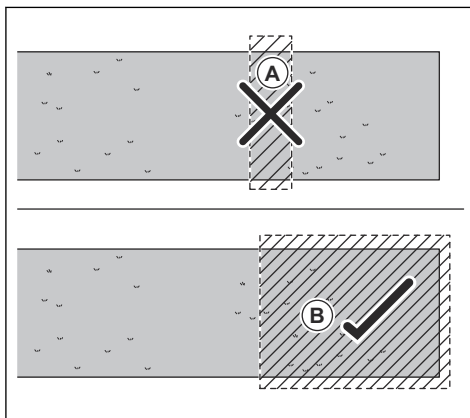
本製品は 20% 斜面でも動作します。仮想境界は、勾配が 15% 以下の場所に設置できます。勾配 (%) は、1 メートルあたりの高さで計算されます。例：10 cm / 100 cm = 10%。



- 作業エリア内の勾配が 20% を超える斜面は、周囲に進入制限ゾーンを設置して隔離してください。
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁に 15 cm/6 インチのフェンスまたは保護壁を設置してください。
- Husqvarna は、芝の損耗を防ぐために斜面を直登するよう、体系化された方向パターンを設定することをお勧めします。
- 仮想境界は、勾配が 15% 以下の斜面に設置してください。

3.6.3 進入制限ゾーンの設置場所について

- 物体の周囲に 2 x 2 m/6.6 x 6.6 フィートを上回る進入制限ゾーンを設けてください。
- 進入制限ゾーンに、本製品が動作してはならない完了エリア (B) があることを確認してください。



注記： 本製品が作業エリア (A) の一部に入らないようにするために、作業エリアを横断するような進入制限ゾーンを設けないでください。

- 進入制限ゾーンが 30 x 30 cm/1 x 1 フィート以上であることを確認してください。

3.7 本製品の設置

3.7.1 本製品の設置方法

本製品を設置するには、次の一般的な手順を実行します。

1. カuttingデッキをドライブユニットに取り付けます。「Cuttingデッキの取り付け方法 20 ページ」を参照してください。
2. チャージステーションを設置します。「チャージステーションの設置 21 ページ」を参照してください。
3. リファレンスステーションを設置します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。
4. モバイルデバイスに Husqvarna Fleet Services™ アプリと Automower® Connect アプリをインストールします。「」を参照してください。
5. 本製品と Husqvarna Fleet Services™ アプリのペアリングを行います。アプリで始動順序の基本設定を行います。「」を参照してください。
6. 作業エリア、進入制限ゾーン、輸送経路、メンテナンスポイントを含む地図を作成します。「」を参照してください。
7. Husqvarna Fleet Services™ アプリを使用して本製品の設定を行います。「設定 28 ページ」を参照してください。

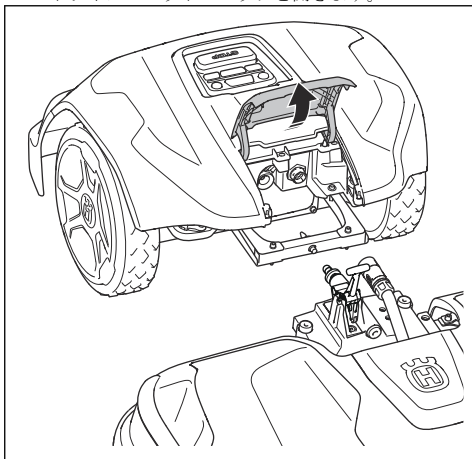
3.7.2 設置ツール

- 19 mm オープンエンドソケットレンチ。
- 8 mm 六角レンチ (チャージステーションに付属)。

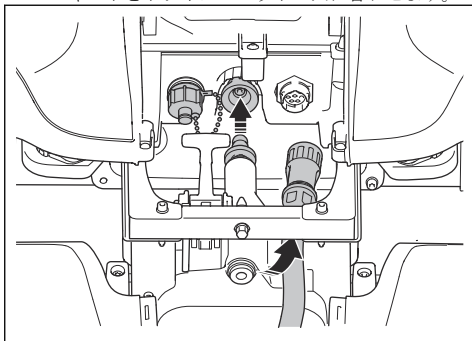
- コンビツール。カッティングデッキに付属。
- 10 mm ソケットレンチ。
- ドリル機器 (6 mm ドリル)。
- ラチェットレンチまたはトルクレンチ (10 mm)。

3.7.3 カッティングデッキの取り付け方法

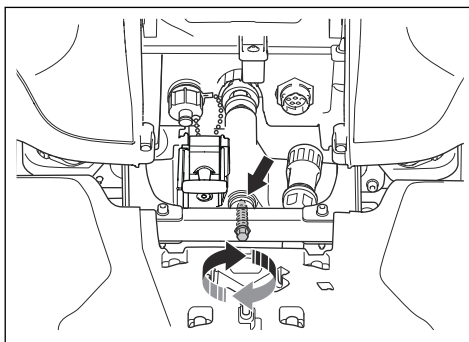
1. ドライブユニットを OFF にします。「本製品をオフにする 32 ページ」を参照してください。
2. カッティングデッキをドライブユニットの前に置きます。
3. ドライブユニットのハッチを開きます。



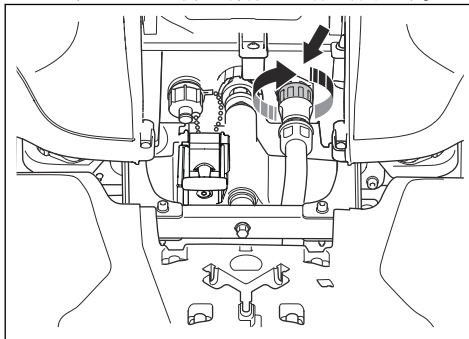
4. カッティングデッキの中央上部カバーを取り外します。
5. ドライブユニットのフレームをカッティングデッキとケーブルの上に置きます。
6. シャフトをドライブユニットの穴に合わせます。



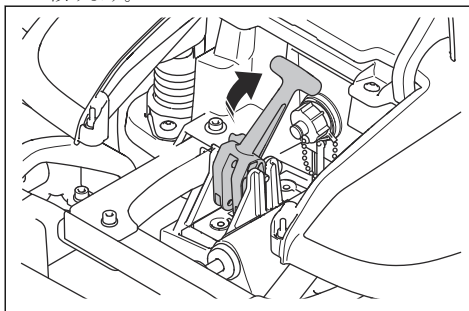
7. シャフトをフレームの穴に合わせます。



8. 10 mm のラチェットレンチまたはトルクレンチを使用してネジを取り付けます。締め付けトルクは 5 Nm です。
9. 19 mm のオープンエンドソケットレンチを使用して、反対側のナットを締め付けます。締め付けトルクは 9 Nm です。
10. ケーブルをドライブユニットに接続します。接続部の位置が正しくそろっていることを確認します。
11. コネクターの内側を時計回りに締め付けます。



12. カッティングデッキの後部を持ち上げて、レバーを傾けます。



13. カッティングデッキの中央上部カバーを取り付けます。
14. ハッチを閉じます。

3.7.4 カuttingデッキの取り外し方法

1. ドライブユニットを OFF にします。「本製品をオフにする 32 ページ」を参照してください。
2. ドライブユニットのハッチを開きます。
3. Cuttingデッキの中央上部カバーを取り外します。
4. コネクターの内側を反時計回りに緩め、ケーブルを外します。
5. レバーを傾けます。
6. 19 mm のオープンエンドソケットレンチでナットを緩め、コンビツールでネジを取り外します。
7. ドライブユニットからCuttingデッキを取り外します。カバーを 2 つのコネクターに取り付けます。

3.7.5 チャージステーションの設置

チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。「チャージステーションの設置場所について 15 ページ」を参照してください。



警告： 取り付けに関する安全注意事項を読み、理解してください。「安全性 4 ページ」を参照してください。



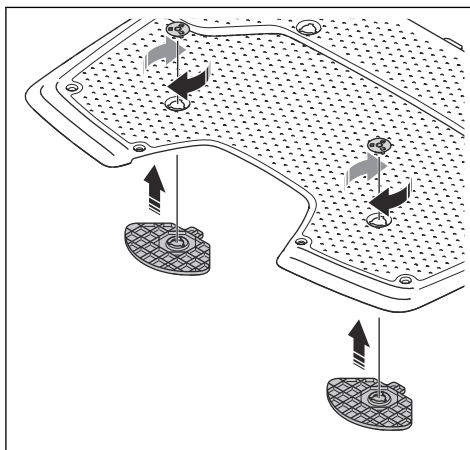
注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



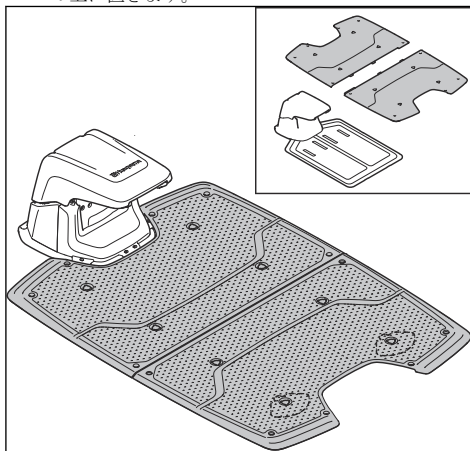
注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。

3.7.5.1 チャージステーションを設置する方法

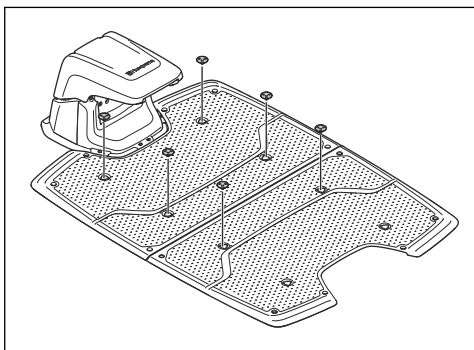
1. 選択した場所にチャージステーションを置きます。
2. 2 つのサポートプレートを上部ベースプレートの背面に配置します。8 mm の六角レンチを使用して、2 つのカップリングで前面からサポートプレートを取り付けます。



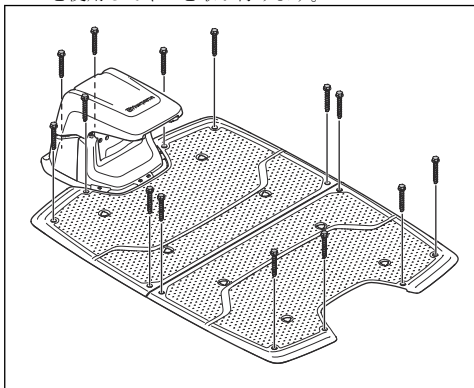
3. 2 つの上部ベースプレートを下部ベースプレートの上に置きます。



4. 6 つのカップリングを使用して、上部ベースプレートを下部ベースプレートに取り付けます。カップリングを取り付けるには、8 mm の六角レンチを使用します。



5. 6 mm のドリルを使用して地面に 14 個の穴を開けます。
6. 付属の 14 本のネジを使用してチャージステーションを地面に固定します。10 mm のソケットレンチを使用してネジを取り付けます。

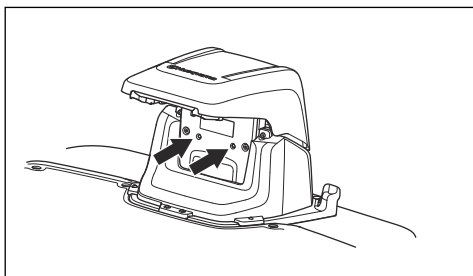


注意： ネジを締めすぎないでください。

7. メインケーブルを 100 V の電源コンセントに接続します。
8. 本製品をチャージステーションに入れます。本製品の **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押し、本製品を充電します。「バッテリーの充電 32 ページ」を参照してください。

3.7.5.2 チャージステーションを目視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。



2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。「チャージステーションの LED インジケータランプ 48 ページ」および「チャージステーションを設置する方法 21 ページ」を参照してください。

3.7.6 リファレンスステーションの設置

リファレンスステーションの取扱説明書に記載されている指示に従って、リファレンスステーションを設置してください。

3.7.7 Husqvarna Fleet Services™

Husqvarna Fleet Services™ は、業務用管理者にすべての製品の概要を提供するクラウドソリューションです。業務用管理者は、すべての製品をリモートで制御することもできます。Husqvarna Fleet Services™ は、Web サービスとして、およびアプリとして使用できます。Husqvarna Fleet Services™ アプリを使用すると、Automower® Connect アプリにリダイレクトされます。Husqvarna Fleet Services™ について詳しくは、www.husqvarna.com を参照してください。

注記： 一部の国や地域では、地域によって使用されている携帯電波システムが異なるため、携帯電話による接続がサポートされません。付帯サービスは、作業エリアにサードパーティの 2G/4G のサブサプライヤーが存在する場合にのみ適用されます。

3.7.8 Automower® Connect

Automower® Connect は、モバイルデバイス用の無料アプリです。このアプリは、製品の設置、設定、操作に使用します。アラームや統計情報などの詳細情報は Automower® Connect アプリでも確認できます。

このアプリには、次の 2 つの接続モードがあります。長距離携帯電波接続と短距離 Bluetooth® 接続です。

3.7.9 基本設定を行うには

本製品の電源を初めて入れるときは、操作を開始する前に、いくつかの基本設定を行う必要があります。

1. Husqvarna Fleet Services™ アプリと Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。

2. Husqvarna Fleet Services™ アプリにログインします。
3. 本製品をオンにします。
4. ご使用のモバイルデバイスで、Bluetooth® を起動します。

注記： 本製品の Bluetooth® ペアリング操作モードが 3 分間有効になります。本製品とモバイルデバイス間のペアリング操作が正常に完了しなかった場合は、本製品の Bluetooth® ボタンを押して Bluetooth® を再度有効にします。

注記： Bluetooth® が有効になっている他のデバイスが、ペアリング操作に干渉することがあります。ペアリング操作に干渉が発生する場合は、他のデバイスの Bluetooth® を無効にします。

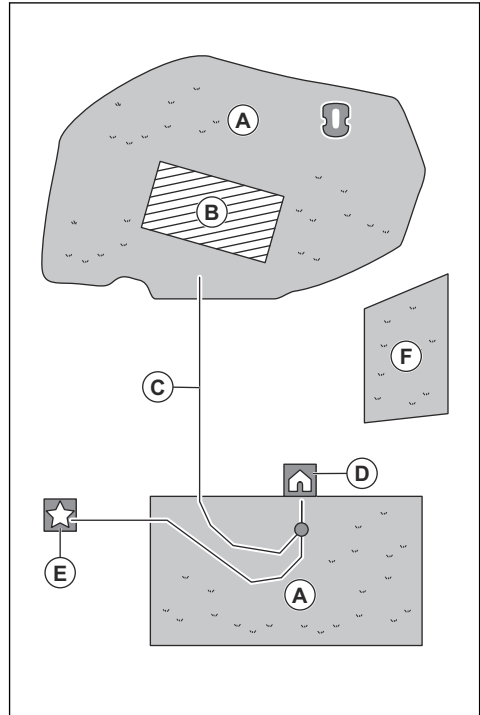
5. アプリで [Add Robotic mower (ロボット芝刈機の追加)] を選択して製品を追加し、アプリの指示に従います。

3.7.10 地図オブジェクトの設置

地図オブジェクトの設置に関する指示を読み、理解してください。「地図上のどこに物体を設置するかを検討する 17 ページ」を参照してください。

地図上に、アプリでフォローする物体を設置できます。

- 作業エリア (A)
- 進入制限ゾーン (B)
- 輸送経路 (C)
- チャージステーション (D)
- メンテナンスポイント (E)
- 作業エリア (セカンダリエリア) (F)



完全な地図をインストールするには、地図上に作業エリアとチャージステーションを設置する必要があります。

作業エリアは、仮想境界によって指定されます。最大 20 作業エリアとセカンダリエリアを地図上に設置できます。

作業エリアには、次の 2 つのタイプがあります。

- チャージステーションがある作業エリア、または本製品が自動的に動作する輸送経路がある作業エリアに接続された作業エリア。
- セカンダリエリアとは、チャージステーションと輸送経路がない作業エリアです。本製品を手動で動かして、作業エリアを行き来させる必要があります。

輸送経路とは、チャージステーション前のドッキングポイントと作業エリア間の指定経路です。本製品はこの経路内で自動的に動作しますが、芝を刈ることはありません。輸送経路は、アプリで一時的に有効または無効にすることができます。

本製品を稼働させないエリアがある場合は、進入制限ゾーンを設置します。進入制限ゾーンは、仮想境界によって指定されます。進入制限ゾーンは、アプリで一時的に有効または無効にできます。

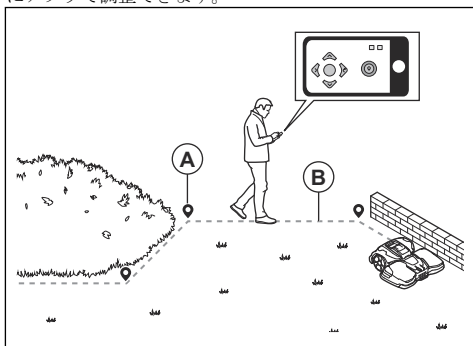
メンテナンスポイントとは、本製品を駐車できる指定位置のことです。これは、本製品のメンテナンスを行うサービスポイントなどに使用できます。メンテナンスポイ

ントは、経路を使用してドッキングポイントと接続します。

地図上に物体を設置するには、appDrive 装置を使用して製品を操作し、地図上に通過点を追加します。「地図上で物体の設置 24 ページ」を参照してください。

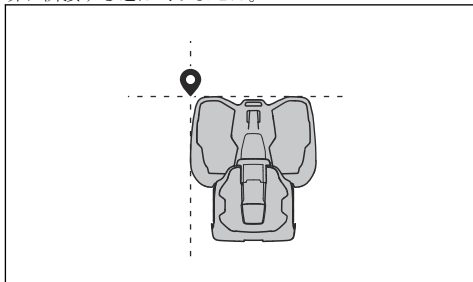
3.7.10.1 地図上での物体の設置

通過点 (A) は、仮想境界と経路 (B) を作成する位置です。線は、通過点間で直線になります。使用する通過点はできるだけ少なくすることをお勧めします。各作業エリア、関連する進入制限ゾーンおよび輸送経路に関して、通過点の合計最大数は 800 です。Husqvarna は、地図を完全にインストールするために、最大 1,000 の通過点を追加することをお勧めします。曲線を滑らかにするには、複数の通過点を使用します。Husqvarna は、通過点間の距離を 30 cm (1 フィート) 以上に設定することをお勧めします。通過点の位置は、地図のインストール後にアプリで調整できます。

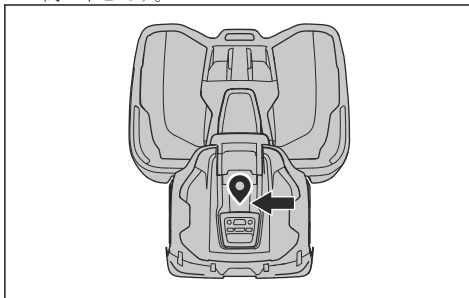


注意： 地図オブジェクトをインストールするときは、通過点間で本製品を持ち上げたり移動したりしないでください。appDrive を使用して正しく設置してください。

注記： 作業エリアまたは進入制限ゾーンを設置するときのウェイポイントの位置は、本製品の左前隅になります。仮想境界は、本製品が移動する領域を指定します。本製品は、カッティングディスクの位置により、仮想境界に隣接する芝は刈りません。



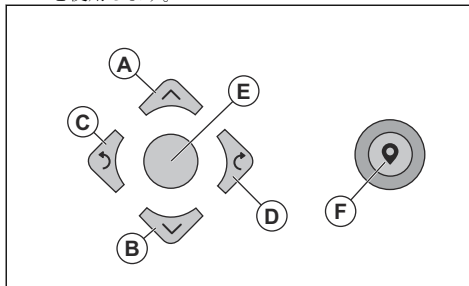
注記： 輸送経路またはメンテナンスポイントへの経路を設置するときの通過点の位置は、本製品の駆動ホイール間の中心です。



- 自分が製品の近くにいる、Bluetooth® によりアプリで本製品に接続していることを確認してください。
- ステータスが **EPOS™** 確認済みであることを appDrive で確認します。

注記： Bluetooth® 機能を備えたゲームコントローラーを appDrive とともに使用して、本製品を操作できます。

- 設置する物体を選択し、appDrive 装置のボタンで本製品を操作します。
- 本製品を前進させるには、上ボタン (A) を使用します。
- 本製品を後退させるには、下ボタン (B) を使用します。
- 本製品を左旋回させるには、左矢印ボタン (C) を使用します。
- 本製品を右旋回させるには、右矢印ボタン (D) を使用します。
- 中央のボタン (E) をジョイスティックとして使用すると、本製品を任意の方向に移動および回転させることができます。
- 地図に通過点を追加するには、通過点ボタン (F) を使用します。

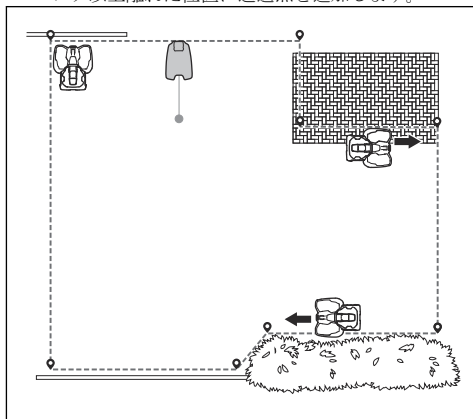


注記： appDrive を使用して本製品を操作するときは、本製品の 2-3 m/6.5-9.8 フィート後ろを歩いてください。

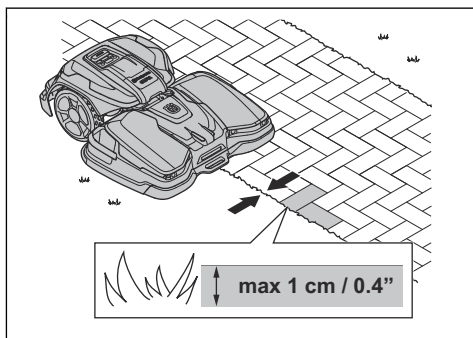
作業エリアを作成する

作業エリアを作成するには、3 つ以上の通過点が必要です。

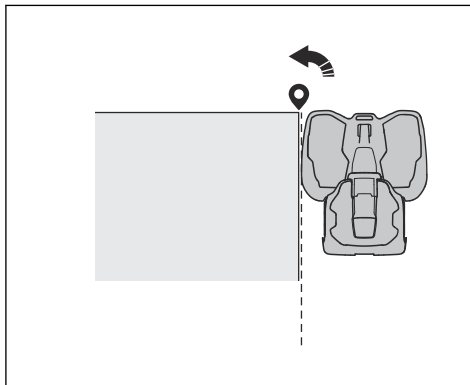
- 作業エリアの境界線を中心として、時計回りに本製品を操作します。
- 地図に通過点を追加します。障害物から 3 cm/1 インチ以上離れた位置に通過点を追加します。



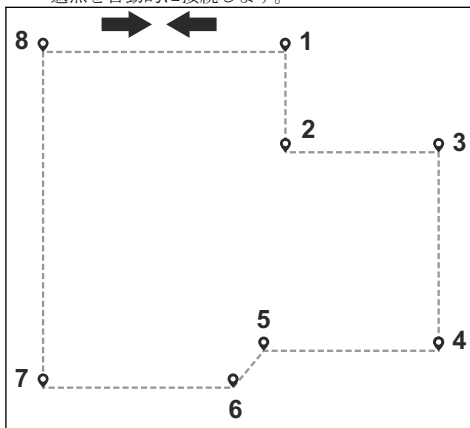
- 芝生と敷石の間の縁に、本製品に芝刈りをさせるための通過点を追加します。通過点を追加するときは、芝生の縁と敷石をまたぐようにしてください。芝生に対する敷石の高さが 1 cm/0.4 インチ以下であれば、本製品は縁をまたぐことができます。



- 角部分の周囲に仮想境界を設置するために、外側の角に通過点を追加します。



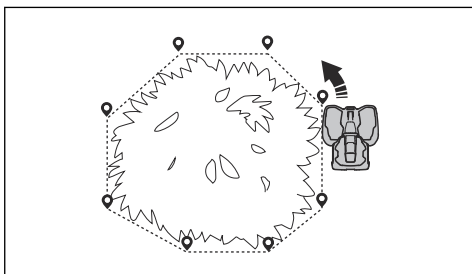
- 仮想境界を形成する通過点を、同じ作業エリア内の仮想境界を横切るように設定しないでください。
- 作業エリアを保存して、仮想境界の最初と最後の通過点を自動的に接続します。



進入制限ゾーンを作成する

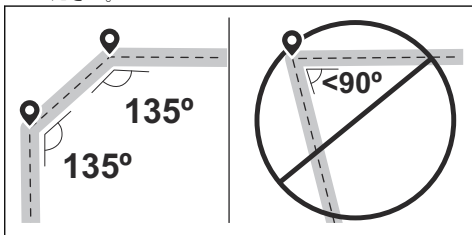
進入制限ゾーンを作成するには、3 つ以上の通過点が必要です。

- 進入制限ゾーンの境界付近で、本製品を反時計回りに操作します。
- 地図に通過点を追加します。障害物から 3 cm/1 インチ以上離れた位置に通過点を追加します。
- 仮想境界を形成する通過点を、同じ進入制限ゾーン内の仮想境界を横切るように設定しないでください。
- 進入制限ゾーンを保存して、仮想境界の最初と最後の通過点を自動的に接続します。

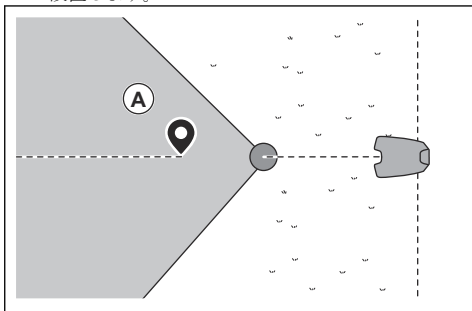


輸送経路を作成する

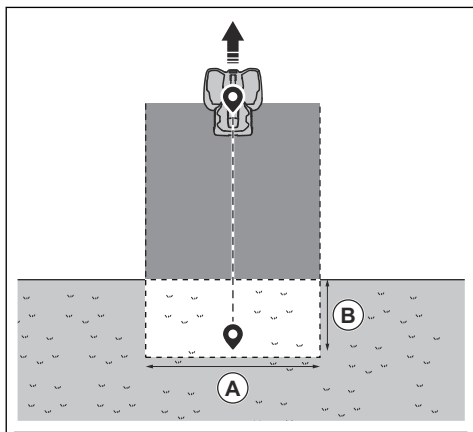
- 製品を操作して地図上に通過点を追加し、輸送経路を設置します。仮想境界から **1 m/3.3 フィート** 以上離れた作業エリアから開始します。
- 作業エリアの仮想境界に対して垂直に輸送経路を設置します。
- 進入制限ゾーンを横切るように輸送経路を設置しないでください。
- 輸送経路が同じ輸送経路を横切るような通過点を設置しないでください。
- 輸送経路を設置するときは、鋭角や直角を避けてください。



- 本製品を操作して通過点を追加し、輸送経路をドッキングポイントに接続します。
- ドッキングポイントから見て **+/-45 度** の角度内となるように、最後の通過点を輸送経路 (A) の上に設置します。

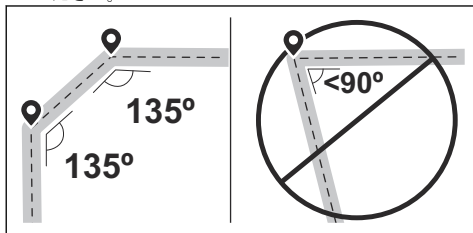


- 輸送経路を保存して、最後の通過点をドッキングポイントに自動的に接続します。
- 輸送経路の経路幅 (A) を設定します。経路幅は **3-5 m/9.8-16.4 フィート** に設定できます。

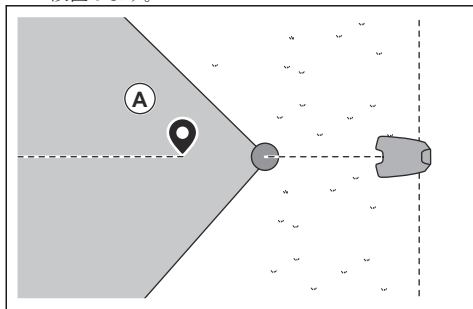


メンテナンスポイントを作成する

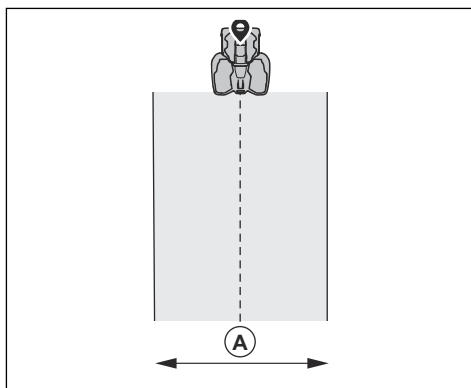
- 本製品を操作して、地図上に通過点を追加します。メンテナンスポイントを設置する位置で、通過点の追加を開始します。最初の通過点により、メンテナンスポイントが指定されます。
- 輸送経路を設置するときは、鋭角や直角を避けてください。



- 本製品を操作して通過点を追加し、チャージステーションまでの経路を作成します。
- ドッキングポイントから見て **+/-45 度** の角度内となるように、最後の通過点を輸送経路 (A) の上に設置します。



- メンテナンスポイントを保存して、最後の通過点をドッキングポイントに自動的に接続します。
- メンテナンスポイントの経路幅 (A) を設定します。経路幅は **3-5 m/9.8-16.4 フィート** に設定できます。



チャージステーションを地図上に再設置するには

チャージステーションを移動または交換する場合は、地図上にチャージステーションを再設置します。また、ロボット芝刈機をチャージステーションにドッキングできない場合や、チャージステーションに接続できない場合にも再設置を行うことができます。

1. アプリで、**[map objects (地図オブジェクト)]** > **[Charge station (チャージステーション)]** の順に選択します。
2. **[Reinstall charging station (チャージステーションの再設置)]** を選択します。

注記： Bluetooth® が有効になっている他のデバイスが、ペアリング操作に干渉することがあります。ペアリング操作に干渉が発生する場合は、他のデバイスの Bluetooth® を無効にします。

リファレンスステーションを地図上に再設置するには

リファレンスステーションを移動または交換する場合は、リファレンスステーションを地図上に再設置します。

1. アプリで、**[Map objects (地図オブジェクト)]** > **[Reference station (リファレンスステーション)]** の順に選択します。
2. **[Reinstall reference station (リファレンスステーションの再設置)]** を選択し、指示に従います。

注記： リファレンスステーションを移動する場合、工場出荷時の状態にリセットして、すべての地図を再度インストールする必要があります。

4 設定

本製品は工場出荷時に設定されていますが、設定は各作業エリアに合わせて変更できます。

4.1 スケジュール



[Schedule (スケジュール)] メニューで、本製品のスケジュール設定を変更できます。作業エリアごとに個別のスケジュールを設定できます。セカンダリエリアはスケジュールを設定できません。スケジュール機能により、本製品の稼働時間を制御します。本製品は、稼働していないときはチャージステーションに駐車します。

作業エリアの形状、障害物の数、斜面により、芝刈り性能が低下します。

	システムチック芝刈り
対応エリア - スポーツ 24	毎日芝刈り
対応エリア - 標準 48	1 日おきに芝刈り
対応エリア - 最大 72	2 日おきに芝刈り

本製品の最大対応エリアは、用途や芝生の品質によって異なります。

- 対応エリア - スポーツ 24：毎日（24 時間）芝刈りする必要がある、競技場やゴルフ場のフェアウェイの最大対応エリアです。手入れの行き届いた、緑豊かな密生した芝生を低い刈高で芝刈りする場合に有効です。
- 対応エリア - 標準 48：1 日おきに（48 時間）システムティックに芝刈りする必要がある、施設周辺エリアやゴルフ場のラフなど、多くの芝生の最大対応エリアです。不均一なパターンでは、毎日芝刈りする必要があります。標準的な芝生品質を中程度の刈高で芝刈りする場合に有効です。
- 対応エリア - 最大 72：2 日おきに（72 時間）システムティックに芝刈りできる、施設周辺エリアの最大対応エリアです。不均一なパターンでは、毎日芝刈りする必要があります。成長が遅い芝を高い刈高で芝刈りする場合に有効です。

4.2 システムチック芝刈りの使用方法

- 製品ができるだけ長時間稼働するようにスケジュールを設定します。

注記： 作業エリアの芝刈りを終わると、本製品はチャージステーションに移動します。本製品は、次のスケジュールが開始するまでチャージステーションに駐車します。作業エリアの芝刈りが完全に終わっていない場合、本製品は次のスケジュールで作業エリアの芝刈りを続行します。

- スケジュールを 2 つ設定して、作業エリアの芝刈りを 1 日に 2 回行うこともできます。作業エリア全体の芝刈りを行うために十分な時間が確保されるよう製品のスケジュールを設定します。
- 2 つ以上のスケジュールを平行して設定すると、長い間芝刈りを行っていない場所から芝刈りを開始します。

4.3 刈高



注記： 土壌の種類、芝の品種、表面の種類によって、刈高が異なる場合があります。凸面の場合、刈高は平均刈高よりも低くなります。凹面の場合、刈高は平均刈高よりも高くなります。凸面では芝生表面をはぎ取る危険性があります。

刈高は、作業エリアごとに個別に設定します。

4.4 パターン



システムチック芝刈りの設定は、作業エリアごとに設定します。次の設定が可能です。

- 製品の動作パターンを設定します。
- パターンによっては、方向の設定が可能です。
- パターンによっては、境界の芝刈りの種類を設定できます。固定境界の芝刈りでは、製品は常に同じ経路で動作し、作業領域の周囲にシャープな境界線を維持します。可変境界芝刈りでは、仮想境界に沿ってわだちが残りにくくなるように、異なる経路で芝を刈ります。
- 多くの障害物や進入制限ゾーンを含む、作業エリア内のさまざまな方向を含むパターンを設定します。

4.5 動作



[Operation (操作)] メニューでは [Object avoidance (障害物回避)] および [ECO mode (ECO モード)] の設定を変更できます。

4.5.1 障害物回避

[*Object avoidance (障害物回避)*] 機能により、本製品は、障害物に近づくと速度を下げ、衝突を回避します。

注記： このため、障害物の周囲の芝が刈られなくなることがあります。この機能が原因で、背の高い芝を本製品が十分に切断できなくなることがあります。

注記： [*Object avoidance (障害物回避)*] は、作業エリアで動作しているときにのみ有効になります。輸送経路にあるときは有効になりません。

4.5.2 ECO モード

[*ECO mode (ECO モード)*] では、本製品の駐車中や充電中に、チャージステーションの信号が無効になります。ループ信号が無効になっている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色に点滅します。

注記： [*ECO mode (ECO モード)*] は、電力を節約し、ヒアリンググループやガレージドアなど、他の機器との干渉を防止するために使用します。

注記： 作業エリア内で本製品を手動で始動するには、最初にループ信号を有効にする必要があります。

4.5.2.1 ループ信号の有効化

1. 本製品をオンにします。
2. 本製品をチャージステーションに入れます。
3. **STOP** ボタンを押します。
4. 2 秒待つてから、本製品をチャージステーションから取り外します。
5. チャージステーションの LED インジケータが緑色に点灯していることを確認します。
6. 芝刈りを開始する位置に本製品を置きます。

4.6 アクセサリー



4.6.1 ヘッドライト

ヘッドライト点灯のタイミングを制御する設定には、以下の 4 つがあります。

- 常時オン
- 夕方のみ (19:00-00:00)
- 夕方と夜間 (19:00-07:00)
- 常時オフ

ヘッドライトは、点滅または点灯に設定できます。エラー発生時にヘッドライトが点滅するように設定できます。

注記： Husqvarna は、夜間にヘッドライトを点灯させることをお勧めします。

4.6.2 芝刈機ハウスとの衝突の回避

[*Avoid house collisions (ハウスとの衝突の回避)*] を使用すると、チャージステーションのベースプレートの摩耗が低減します。本製品の刈高が 30 mm 以下に設定されている場合は、[*Avoid house collisions (ハウスとの衝突の回避)*] を使用してください。[*Avoid house collisions (ハウスとの衝突の回避)*] を選択すると、チャージステーションの周囲の芝が刈り取られないことがあります。

4.7 全般 (Bluetooth® のみ)



この機能は、日時を設定したり、デフォルトの設定にリセットしたりするために使用します。

4.7.1 Time & date (時刻 & 日付)

時刻と日付は手動で変更することも、モバイルデバイスの時刻と日付を使用して変更することもできます。

4.7.2 工場設定リセット

ユーザー設定は、リセットして工場出荷時の設定に戻すことができます。すべての地図オブジェクトとスケジュールが削除されます。

注記： PIN コード、ループ信号、メッセージ、および日付と時刻はリセットされません。

4.8 セキュリティ



セキュリティ設定で、PIN コード、GeoFence、その他のセキュリティ機能を制御します。[*Security (セキュリティ)*] メニューにアクセスするには、正しい PIN コードを入力する必要があります。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合にのみ使用できます。

4.8.1 PIN コードの変更

PIN コードは変更できます。新しい PIN コードをメモに記録します。参照：はじめに A ページ。

4.8.2 盗難防止

[*Theft protection (盗難防止)*] メニューで、アラーム持続時間およびアラームをトリガーするイベントを設定することができます。工場出荷時の設定では PIN コードが必要で、アラームの持続時間は 1 分です。

4.8.2.1 アラーム持続時間

アラーム信号を持続させる時間を設定できる場合があります。1 分から 10 分の間で設定できます。

4.8.2.2 ストップボタン押下状態

アラーム「*STOP button pressed (ストップボタン押下状態)*」が有効になっている場合は、誰かが [STOP (ストップ)] ボタンを押し、その後 30 秒以内に PIN コードが入力されないと、このアラームが出されます。

4.8.2.3 持ち去り

アラーム「*Carried away (持ち去り)*」が有効になっている場合に本製品が想定外の動きを感知すると、このアラームが出されます。

4.8.3 GeoFence

GeoFence は、本製品のための仮想フェンスを作る、GPS ベースの盗難防止機能です。本製品が、中心位置から設定距離以上に離れている場合、本製品は無効化され、アラームが作動します。GeoFence が有効な場合、中心位置は本製品の現在位置に設定されます。アラームを停止して本製品を起動するには、PIN コードが必要です。本製品の電源をオンにしたときにのみ、GeoFence は有効化されます。

4.9 Automower® Connect (Bluetooth® のみ)



Automower® Connect では、Automower® Connect モジュールを有効または無効にできます。また、信号強度や接続ステータスの確認、新しいペアリングの開始、ペアリングされたアカウントからの本製品の削除を行うこともできます。

4.10 メッセージ

このメニューでは、過去の障害および情報メッセージを表示できます。一部のメッセージでは、障害の是正に役立つヒントやアドバイスが表示されます。

何かに引っかかったりバッテリー残量が不足したりなど、何らかの理由で本製品に障害が発生した場合は、その障害についてのメッセージと発生時刻が保存されます。

同じメッセージが数回繰り返された場合は、設置場所または本製品に対する調整が必要であるかもしれません。

Installation (設置) 15 ページを参照してください。

4.11 芝刈りプロファイル

芝刈りプロファイルには、さまざまな設定を保存できます。複数の場所に 1 つの製品を使用する場合や、同じ位置で異なる設定がある場合に、この機能を使用します。芝刈りプロファイルには、製品設定、地図オブジェクト、およびそれらの設定が保存されます。

4.12 無線ファームウェアのダウンロード(Firmware over the air FOTA)

本製品には、新しいファームウェアを自動的にダウンロードする機能があります。新しいファームウェアが利用可能になると、アプリに通知が表示され、新しいファームウェアのインストールを選択できます。工場出荷時の設定では、この機能は有効になっています。Husqvarna では、新しいファームウェアが利用可能になった際に、ファームウェアのアップデートをお勧めしています。

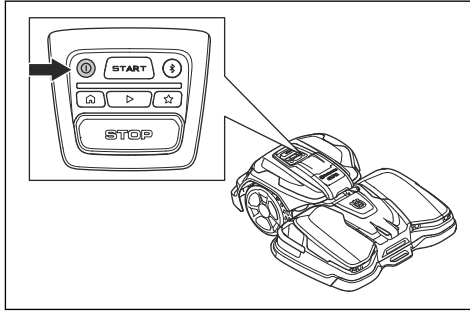
5 Operation (操作)

5.1 本製品をオンにする



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

- **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押して、本製品をオンにします。LED インジケータが点灯していることを確認します。



5.2 本製品の始動方法

1. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押して、本製品をオンにします。
2. Husqvarna Fleet Services™ アプリを開きます。
3. PIN コードを入力します。
4. 本製品の **START** ボタンを押します。

5.3 動作モードの選択方法

5.3.1 スケジュールされた動作

製品が、設定されたスケジュールに従って作業エリアで芝刈りを行い、自動で充電を行います。

5.3.1.1 アプリでスケジュールされた動作を選択する方法

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. **[Start (開始)]** > **[Resume Schedule (スケジュールを再開)]** を選択します。

5.3.1.2 コントロールパネルでスケジュールされた動作を選択する方法

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **[Play (実行)]** ボタンを押します。
3. **START** ボタンを押します。

5.4 appDrive

appDrive を使用して本製品を手動で操作します。

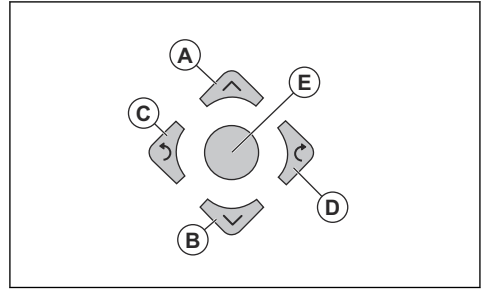
5.4.1 appDrive の使用方法

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. **[Start (開始)]** > **[appDrive]** を選択します。

5.4.2 appDrive で本製品を操作する

ボタンを使用して本製品を操作します。

- 本製品を前進させるには、**上ボタン (A)** を使用します。
- 本製品を後退させるには、**下ボタン (B)** を使用します。
- 本製品を左旋回させるには、**左矢印ボタン (C)** を使用します。
- 本製品を右旋回させるには、**右矢印ボタン (D)** を使用します。
- **中央のボタン (E)** をジョイスティックとして使用すると、本製品を任意の方向に移動および回転させることができます。



注記： appDrive を使用して本製品を操作するときは、本製品の 2-3 m/6.5-9.8 フィート後ろを歩いてください。

5.5 作業エリアの選択

この機能を使用すると、選択した作業エリアで一時的に本製品を運転できます。選択した作業エリアの芝刈りが行われると、本製品は、設定されたスケジュールに従って動作し続けます。

製品をセカンダリエリアで操作するには、本製品をセカンダリエリアに手動で移動する必要があります。本製品は、作業エリアの芝刈りが行われるか、バッテリーが空になるまで動作します。

5.5.1 アプリで作業エリアを選択する方法

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. **[START]** を選択します。
3. 作業エリアを選択します。

5.6 駐車動作モード

[Park (駐車)] 動作モードでは、本製品がチャージステーションに戻ります。本製品は、選択した期間、または新しい動作モードを選択するまで、チャージステーションに待機します。

5.6.1 アプリで [Park (駐車)] 動作モードを選択する方法

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. [Park (駐車)] を選択します。
3. 本製品がチャージステーションに待機する期間を選択します。

5.6.2 コントロールパネルで [Park (駐車)] 動作モードを選択する方法

1. STOP ボタンを押します。
2. [Park (駐車)] ボタンを押します。
3. START ボタンを押します。

本製品は、チャージステーションに 3 時間待機してから、設定されたスケジュールに従って動作し続けます。

5.7 メンテナンスポイントでの [Park (駐車)] 動作モード

メンテナンスポイントに本製品を駐車させて、メンテナンスを行うことができます。

5.7.1 アプリを使用して本製品をメンテナンスポイントに駐車させる方法

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. [Park (駐車)] > [Maintenance point (メンテナンスポイント)] を選択します。

新しい動作モードを選択するまで、本製品はメンテナンスポイントに駐車し続けます。

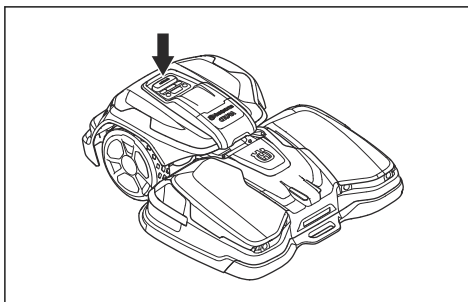
5.7.2 コントロールパネルを使用して本製品をメンテナンスポイントに駐車させる方法

1. STOP ボタンを押します。
2. [Maintenance point (メンテナンスポイント)] ボタンを押します。
3. START ボタンを押します。

新しい動作モードを選択するまで、本製品はメンテナンスポイントに駐車し続けます。

5.8 本製品の停止方法

1. 本製品の上部にある STOP ボタンを押します。
本製品が停止し、カッティングモーターが停止します。



注記： [Play (実行)] および START ボタンを押すと、本製品は、[Resume Schedule (スケジュールを再開)] 動作モードで動作し続けます。

5.9 本製品をオフにする

1. 本製品の上部にある STOP ボタンを押します。
2. アプリの短距離 Bluetooth® で本製品を接続します。

注記： 本製品が Bluetooth® でアプリと接続されていない場合、本製品を OFF に設定することはできません。

3. ON/OFF ボタンを 3 秒間押して、本製品をオフにします。LED インジケータが消灯していることを確認します。

5.10 バッテリーの充電



警告： 本製品を使用する前に、バッテリーに関する安全注意事項を読んで理解してください。「バッテリーの安全 5 ページ」を参照してください。

本製品が新品の場合や長期間の保管後は、バッテリーが空になっている可能性があります。本製品を始動する前に、バッテリーを充電してください。

1. ON/OFF ボタンを 3 秒間押して、本製品をオンにします。
2. チャージプレートが接点プレートと接触するように、本製品をチャージステーションに配置します。「チャージステーション CEORA™ CS4 の製品概要 11 ページ」のチャージプレートと接点プレートを参照してください。
3. Husqvarna Fleet Services™ アプリで充電が進行中であること、または LED インジケータが青で脈動点滅していることを確認します。

注記： 充電が自動的に始まらない場合は、メインケーブルをチャージステーションから外して接続し直し、再起動します。充電は、再起動すると自動的に始まります。

5.11 ホイールブレーキを解除して本製品を移動する方法

持ち上げる代わりに、ホイールブレーキを解除して、本製品を前方に押して手で移動させることができます。

1. **STOP** ボタンを長押しします。3 秒後にホイールブレーキが解除されます。

注記： **STOP** ボタンを放すと、ホイールブレーキが再びかかります。

2. **STOP** ボタンを押したまま、本製品を前方に押して移動させます。

6 メンテナンス

6.1 はじめに - メンテナンス



警告： 製品のメンテナンスを行う場合は本製品を OFF に設定します。



警告： 保護グローブを着用してください。

本製品の動作を改善し、耐用年数を延長するために、定期的に清掃し、摩耗した部品を交換してください。メンテナンスのスケジュール 34 ページの指示に従ってください。

本製品が新品の場合は、ブレードディスクとブレードを毎週点検してください。摩耗が少ない場合は、次回ブレードディスクとブレードを点検する間隔を長くすること

ができます。摩耗が多い場合は、間隔を短くすることができます。

ブレードディスクが容易に回転し、ブレード端部が損傷していないことが重要です。ブレードの通常の寿命は 1 ～ 4 週間です。以下の条件により、ブレードの寿命が長く、あるいは短くなります。

- 作動時間および作業エリアの寸法。
- 芝の長さや厚さ。
- 土壌、砂、および肥料の使用。
- 作業エリアの球果、ツール、石、根などの物体。

注記： ブレードの切れ味が悪い場合、刈り取り結果が不十分になる可能性があります。ブレードの交換方法については、「ブレードおよびブレードディスクの交換 37 ページ」を参照してください。

6.2 メンテナンスのスケジュール

メンテナンスのスケジュールには、本製品のサービスとメンテナンスの方法が記載されています。より良い動作のため、また製品寿命を延ばすために、メンテナンスのスケジュールに従ってください。

X = 作業者が行うことができるメンテナンス。

O = この取扱説明書には説明がありません。認定サービス代理店にご連絡ください。

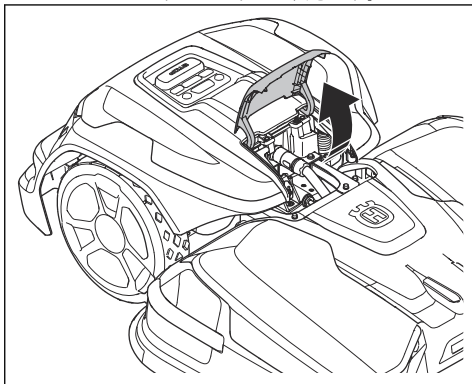
準備	毎週	1 年に 1 回	3 年に 1 回
製品を清掃します。「製品の清掃 37 ページ」を参照してください。	X		
本製品に損傷や摩耗がないことを確認します。	X		
ドライブユニットとカッティングデッキのファームウェアを更新します。「無線ファームウェアのダウンロード(Firmware over the air FOTA)30 ページ」を参照してください。		X	
チャージステーションのファームウェアを更新します。		O	
推奨される更新があるか、サービスメッセージを確認します。		O	

サービス	毎週	1年に1回	3年に1回
ドライブユニット			
ホイールカバーを取り外し、ホイールを清掃します。「ドライブユニットの清掃方法 37 ページ」を参照してください。		X	
USB 端子のキャップが正しく取り付けられているか確認します。		X	
本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。「バッテリーの充電 32 ページ」を参照してください。		X	
必要に応じてホイールブラシの位置を調整するか、摩耗している場合は交換します。「ホイールブラシの調整 38 ページ」を参照してください。	X		
シャーシのラバークロメットを点検して、正しく密封されていることを確認します。		O	
衝突ショックアブソーバーを点検して清掃します。		O	
シャーシのネジの締付トルクを確認します。スレッドインサートを確認します。		O	
モーターリッドを開き、漏れがないか確認します。		O	
エアフローフィルターを点検して清掃します。		O	
エアフローフィルターを交換します。			O
シャーシを開き、シールストリップを交換します。			O
モーターの蓋を開き、ガスケットを交換します。			O
カッティングデッキ			
ブレードを点検し、必要に応じてブレードとブレードのネジを交換します。「ブレードおよびブレードディスクの交換 37 ページ」を参照してください。	X		
チャージプレートを確認し、研磨します。		X	
カッティングディスクとフロントホイールの蛇腹を確認します。		X	
超音波センサーを確認し、ネジを締めます。		O	
電子ボックスのラバークロメットを確認します。		O	
衝突ショックアブソーバーを点検して清掃します。		O	
保護プレートを取り外し、内側を清掃します。		O	
スキッドプレートとスキッドプレートのベアリングを点検します。		O	
刈高調整モーターに潤滑剤を塗布します。		O	
ホイールに磨耗がないか点検します。		O	
フロントホイールのベアリングとホイールホルダーを確認します。		O	
ドライブユニットとカッティングデッキ間のインターフェースに潤滑剤を塗布し、摩耗がないか確認します。		O	
刈高の補正。		O	
エアフローフィルターを点検して清掃します。		O	
エアフローフィルターを交換します。			O

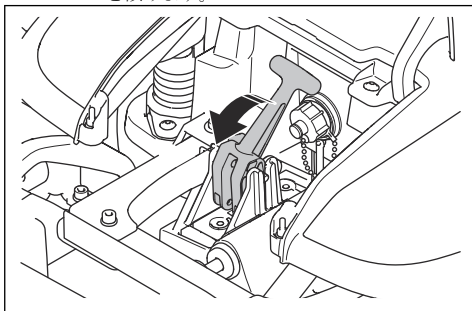
サービス	毎週	1年に1回	3年に1回
充電ケーブルとコネクタを確認します。			O
チャージステーション			
チャージステーションの接点プレートを点検して研磨します。		X	
メインケーブル、電源装置、充電ケーブル、コネクタを確認します。		O	
チャージステーションを開き、ガスケットを交換します。		O	
最後のステップ	毎週	1年に1回	3年に1回
ソフトウェアサービスツールを使用して、本製品の機能テストを行います。		O	

6.3 カuttingデッキをサービスポジションにする方法

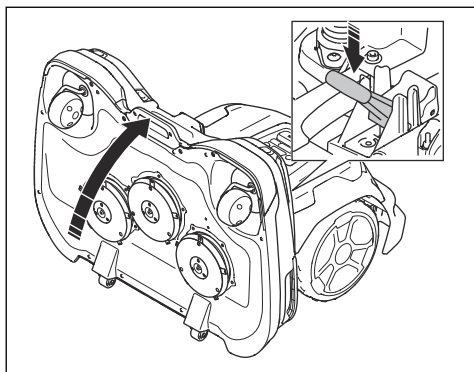
1. 本製品をオフにします。「本製品をオフにする 32 ページ」を参照してください。
2. ドライブユニットのハッチを開きます。



3. レバーを傾けます。

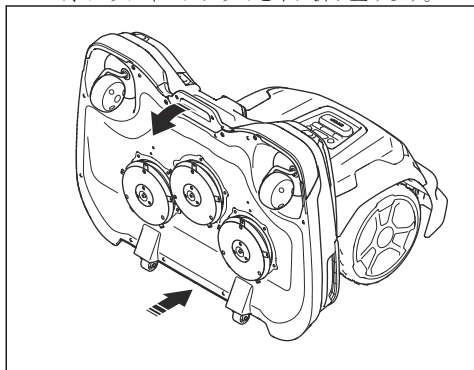


4. レバーを押し下げ、ハンドルを持ってCuttingデッキの前部を持ち上げます。Cuttingデッキが垂直位置にあることを確認します。



6.4 Cuttingデッキを切断位置にする方法

1. Cuttingデッキのフロントハンドルを使用して、Cuttingデッキを下に折り畳みます。



2. Cuttingデッキの後部を持ち上げて、レバーを傾けます。
3. ハッチを閉じます。

6.5 製品の清掃

Husqvarna は、別売りの特別なクリーニングおよびメンテナンスキットの使用をお勧めします。詳細情報は、Husqvarna 担当者までお問い合わせください。

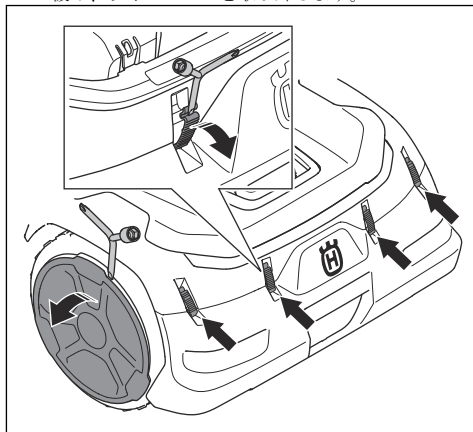


注意： 本製品とチャージステーションの清掃には高圧水を使用しないでください。清掃には溶剤を使用しないでください。

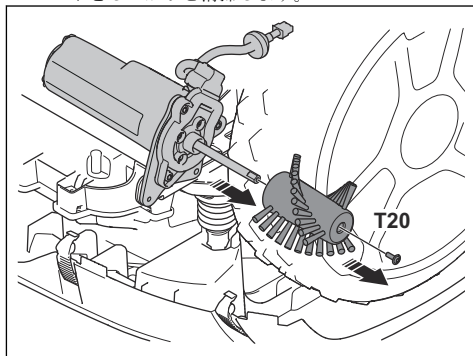
6.5.1 ドライブユニットの清掃方法

本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。

1. コンビツールのマイナスドライバーでクリップを緩め、リヤバンパーを取り外します。



2. コンビツールのマイナスドライバーでホイールカバーを取り外します。
3. ブラシ、圧縮空気、または流水で本製品の本体、ホイール、シャーシを清掃します。
4. ホイールブラシを確認して清掃します。必要に応じてネジを外し、ホイールブラシを取り外してシャフトをしっかりと清掃します。



6.5.2 カuttingデッキとブレードディスクの清掃方法

ブレードディスクとブレードは週に 1 回点検してください。

1. 本製品をサービス位置にします。「カuttingデッキをサービスポジションにする方法 36 ページ」を参照してください。
2. ブラシ、圧縮空気、流水でブレードディスク、保護プレート、ホイールを清掃します。
3. ブレードが損傷していないこと、ブレードとブレードディスクが自由に回転することを確認します。

6.5.3 チャージステーションの清掃



警告： チャージステーションのメンテナンスやクリーニングを行う場合は、メインケーブルをコンセントから外してください。

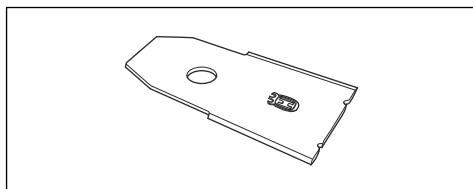
注記： チャージステーションの中に障害物があると本製品はチャージステーションの中に入れません。

- ・ チャージステーションから草、小枝などの異物を定期的に除去します。

6.6 ブレードおよびブレードディスクの交換



警告： Husqvarna では、指定された Husqvarna 純正のブレードを使用する場合のみ安全を保証しています。「主要諸元 55 ページ」を参照してください。



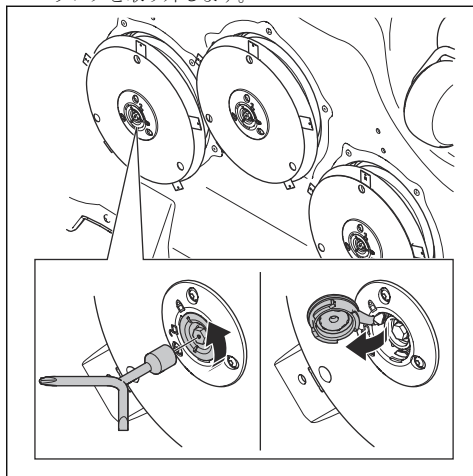
警告： ブレードを交換する場合は、ネジを交換する必要があります。使い古したネジはすぐに摩耗し、ブレードが緩むことがあります。これは、重傷の原因となる可能性があります。

安全な操作のため、磨耗または損傷したブレードは交換してください。十分な切断結果を確保しエネルギー使用量を低減するために、ブレードは定期的に交換してください。芝刈りシステムのバランスを取るため、5 枚のブレードとねじをすべて同時に交換する必要があります。ブレードの寿命の半分に達したら、左右のカutting

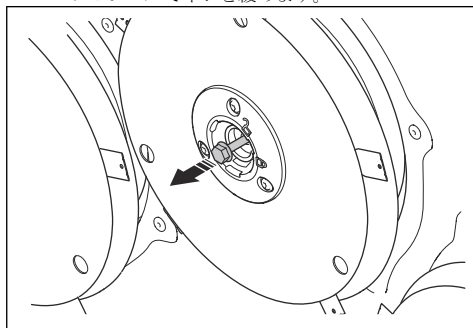
ディスクの位置を入れ替えて、ブレードを均等に摩耗させる必要があります。ブレードディスクを本製品に取り付けるときに、ブレードを交換することができます。ブレードディスクを取り外してからブレードを交換することもできます。

6.6.1 ブレードディスクの交換方法

1. **STOP** ボタンを押します。
2. 本製品をオフにします。
3. カッティングデッキをサービス位置にします。「カッティングデッキをサービスポジションにする方法 36 ページ」を参照してください。
4. コンビツールを使って、ブレードディスクのカップリングを取り外します。



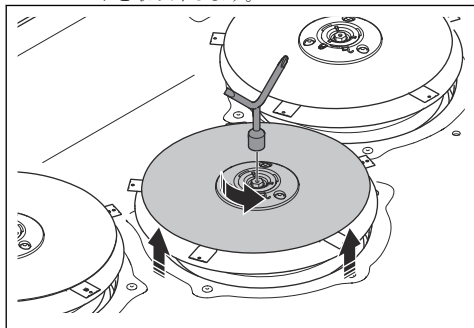
5. コンビツールでネジを緩めます。



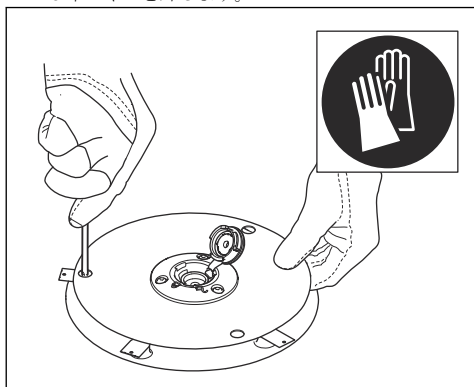
6. ブレードディスクを取り外します。
7. シャフトとハブが汚れている場合は清掃します。
8. ブレードディスクを逆の手順で取り付けます。

6.6.2 ブレードディスクのブレードを交換する方法

1. スキッドプレートに穴がない場合は、スキッドプレートを取り外します。
 - a) スキッドプレートを持ち上げ、コンビツールを使用してネジを取り外し、スキッドプレートを取り外します。



2. 5本のネジを外します。



3. 5枚のブレードを外します。
4. 新しい5枚のブレードとネジを取り付けます。
5. ブレードがスムーズに回転することを確認してください。
6. スキッドプレートを取り外した場合は、スキッドプレートとネジを取り付けます。締め付けトルクは 8 Nm です。

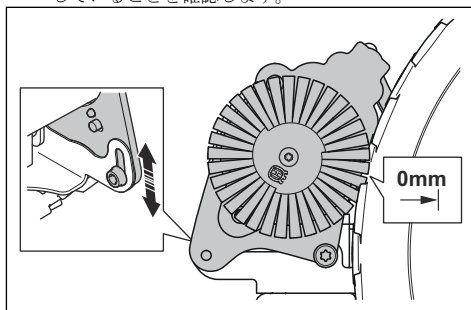
6.7 ホイールブラシの調整

ホイールブラシが摩耗している場合は、調整する必要があります。

6.7.1 ホイールブラシの調整方法

1. **STOP** ボタンを押します。
2. 本製品をオフにします。

3. コンビツールのマイナスドライバーでクリップを緩め、リヤバンパーを取り外します。
4. T27 ドライバーでネジを緩め、ホイールブラシを調整します。ブラシがホイールのネジ山の底に接触していることを確認します。



6.8 バッテリー



注意： 本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーが完全に充電されていないと、バッテリーが損傷するおそれがあります。

本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーの寿命が近づいていることを示しています。動作時間を長くするにはバッテリーを交換します。

注記： バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を1日に稼働させる時間の長さに関連します。稼働させる時期が長い場合、または1日に稼働させる時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。

7 トラブルシューティング

7.1 はじめに - トラブルシューティング

Husqvarna Fleet Services™ の [Messages (メッセージ)] メニューに、すべてのトラブルシューティングメッセージが記載されています。詳細は www.husqvarna.com で確認できます。

7.2 故障メッセージ

Husqvarna Fleet Services™ アプリに表示されるエラーメッセージは以下の表のとおりです。同じメッセージが頻発に表示される場合は、認定サービス代理店にご連絡ください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Cutting system blocked</i> (カッティングシステムブロック)	カッティングモーターが草などの異物によってブロックされています。	カッティングモーターを点検して、草などの異物を取り除きます。
	ブレードディスクが水中にあります。	本製品を移動して、作業エリアに水が溜まらないようにしてください。
	芝の高さが高すぎます。	芝の高さに合わせて刈高を調整します。
		スケジュール設定を調整して、作業時間を長くします。
<i>Trapped</i> (走行不能)	本製品は、小さな領域で複数の障害物の背後にあります。	エリアを確認して、本製品をその場所から動けないようにしている障害物を取り除きます。

メッセージ	原因	対応措置
<i>No loop signal</i> (ループ信号なし)	メインケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED インジケータが点灯しない場合は、電力が供給されていないということです。コンセントの接続と漏電遮断器を点検します。メインケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	メインケーブルが損傷しています。	メインケーブルを交換します。
	[<i>ECO mode</i> (<i>ECO</i> モード)] が有効で、チャージステーションの LED インジケータが緑色に点滅しています。本製品が作業エリア内で手動で始動されましたが、製品がチャージステーションから移動される前に STOP ボタンが押されませんでした。チャージステーションの信号が無効になっているため、本製品がチャージステーションに入ることができません。「 <i>ECO</i> モード 29 ページ」を参照してください。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。「本製品の始動方法 31 ページ」を参照してください。
	本製品がチャージステーションのループ信号を検出できません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。「チャージステーションを地図上に再設置するには 27 ページ」を参照してください。
	チャージステーションが正しく設置されていません。	チャージステーションを正しく設置します。「チャージステーションの設置 21 ページ」を参照してください。
	フェンス、補強鋼材などの金属の物体、チャージステーション付近の埋設ケーブルからの干渉があります。	チャージステーションの位置を変更します。
<i>Outside working area</i> (作業エリア外です)	仮想境界のそばにある作業エリアの斜面の勾配が大きすぎます。	仮想境界が正しく設置されていることを確認します。「建物や木の近くに地図オブジェクトを設置するには 17 ページ」を参照してください。
	輸送経路またはメンテナンスポイントへの経路の斜面勾配が大きすぎます。	輸送経路が正しく設置されていることを確認します。「建物や木の近くに地図オブジェクトを設置するには 17 ページ」を参照してください。
	近くに設置されている別の製品からのループ信号と干渉しているため、製品が正しいループ信号を見つけることができません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。「チャージステーションを地図上に再設置するには 27 ページ」を参照してください。
	フェンス、補強鋼材などの金属の物体、チャージステーション付近の埋設ケーブルからの干渉があります。	チャージステーションの位置を変更します。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Empty battery</i> (バッテリー空)	本製品がチャージステーションを見つけないことができません。	本製品の位置が正確ではなく、チャージステーションが見つかりません。
		本製品を妨害している物体があるため、チャージステーションを見つけないことができません。
	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。「バッテリー 39 ページ」を参照してください。
	チャージステーションのベースプレート内のアンテナが損傷しているため、チャージステーションに製品が入れません。	チャージステーションの LED インジケータが赤色に点滅している場合は、チャージステーションのアンテナが損傷しています。販売店にお問い合わせください。
<i>Slipped</i> (スリップ)	本製品が障害物に当たって停止したか、濡れた芝でホイールが動きません。	本製品を移動して、問題の原因を解決します。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。
	作業エリア内に急な斜面があります。	最大勾配は 45 % です。急な斜面を隔離してください。「斜面での地図オブジェクトの設置 19 ページ」を参照してください。
<i>Charging station blocked</i> (ステーションブロック)	本製品のチャージプレートとチャージステーションの接点プレートの接続が良好ではありません。本製品は充電を何度か試みています。	本製品をチャージステーションに置いて、チャージプレートと接点プレートが接続していることを確認します。
		チャージステーションの接点プレートと本製品のチャージプレートを清掃します。
	障害物のため本製品がチャージステーションに入ることができません。	障害物を取り除いてください。
	チャージステーションが傾いているか、曲がっています。	ベースプレートを水平面に置きます。チャージステーションを柔らかい場所に設置する場合は、サポートプレートアクセサリを使用します。
<i>Stuck in charging station</i> (チャージステーションにスタック)	チャージステーションがブロックされているため、本製品がチャージステーションから出ることができません。ベースプレートの表面が濡れているか汚れているため、本製品がチャージステーションから出ることができません。	本製品がチャージステーションから出ることができない原因を調べます。異物を取り除き、チャージステーションのベースプレートを清掃します。
<i>Charging station communication problem</i> (チャージステーションの通信の問題)	新しいチャージステーションに信号を何度も発生させます。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。	チャージステーションの信号が変更されませんでした。
	本製品とチャージステーションのペアリングを行います。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。	本製品がチャージステーションに接続されていません。
	電源の不具合です。	電源不具合の原因を確認して解決します。
<i>Upside down</i> (上下反転)	本製品が傾いているか、製品本体が上下逆さになっています。	本製品を正しい位置に置きます。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Mower tilted</i> (芝刈機の傾き)	本製品の傾きが最大角度を超えています。	水平な地面があるエリアに本製品を移動します。
<i>Lifted</i> (持ち上げられました)	本製品が持ち上げられたため、リフトセンサーが作動しました。	製品本体がそのシャーシの周囲を自由に動くことを確認してください。製品本体が持ち上げられる原因となる可能性のある障害物を取り除くか、障害物の周囲に進入制限ゾーンを作ります。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
<i>Collision</i> (衝突)	製品本体がシャーシの周囲で自由に動くことができません。	シャーシと製品本体の間の汚れや異物を取り除きます。製品本体がそのシャーシの周囲を自由に動くことを確認してください。
	本製品は前後に移動できません。	本製品の動きを妨害している物体を取り除きます。
<i>Wheel motor blocked right/left</i> (右/左ホイールモーターブロック)	ホイールが草などの異物によってブロックされています。	ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
<i>Alarm! (注意!) Mower stopped</i> (芝刈機の停止)	本製品が停止したため、アラームが作動しました。	[Security (セキュリティ)] メニューでセキュリティ設定を調整してください。「セキュリティ 29 ページ」を参照してください。
<i>Alarm! (注意!) Mower outside Geofence</i> (芝刈機がジオフェンス外)	本製品が GeoFence エリア外に移動したため、アラームが作動しました。	
<i>Alarm! (注意!) Mower was moved</i> (芝刈機が動かされました)	本製品が移動されたため、アラームが作動しました。	

メッセージ	原因	対応措置
<i>Electronic problem</i> (電気系の問題)	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
<i>Loop sensor problem</i> (ループセンサーの問題)		
<i>Charging system problem</i> (充電システムの問題)		
<i>Tilt sensor problem</i> (傾斜センサー不具合)		
一時的な問題		
<i>Invalid sub-device combination</i> (無効なサブデバイス組み合わせ)		
<i>Collision sensor problem</i> (衝突センサーの問題)		
<i>Lift sensor problem</i> (リフトセンサーの問題)		
<i>Invalid system configuration</i> (無効なシステム設定)		
<i>Safety function faulty</i> (安全機能の不具合)		
ドッキングセンサーの問題		
カッティングモーター問題		
カッティングデッキ折り畳みセンサーの問題		
内部電圧の問題	バッテリーまたはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
内部通信の問題		
<i>Battery problem</i> (バッテリーの問題)		
	バッテリーのタイプが間違っています。	メーカーが推奨する純正バッテリーを使用してください。
	バッテリーが損傷しているか、正しく動作していません。	バッテリーを交換します。販売店にお問い合わせください。
<i>Battery temperature outside limits</i> (バッテリー温度が範囲外)	バッテリーの温度が高すぎるか低すぎるため、本製品は始動できません。	バッテリーの温度が下がると、本製品は始動します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
<i>Charging current too high</i> (高すぎる充電電流)	電源ユニットが正しくないか、損傷しています。	電源装置とチャージステーションが損傷していないことを確認します。適切な電源装置とチャージステーションを使用していることを確認してください。本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。

メッセージ	原因	対応措置
地図の問題	作業エリアが指定されていません。	Husqvarna Fleet Services™ アプリで作業エリアを作成します。「作業エリアを作成する 25 ページ」を参照してください。
	地図オブジェクトファイルが正しくありません。	アプリの地図を点検します。地図を調整して保存してください。
		地図を削除して新たにインストールしてください。
<i>Work area tampered</i> (作業エリアの改ざん)	チャージステーションまたはリファレンスステーションが移動されました。	チャージステーションまたはリファレンスステーションを初期位置に移動してください。
		地図を新たにインストールしてください。
<i>Wheel drive problem, right/left</i> (右/左ホイール駆動問題)	ホイールが草などの異物によってブロックされています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
<i>No power in charging station</i> (チャージステーションの電力なし)	電源装置が正しくないか、損傷しています。	電源ユニットを点検します。必要に応じて交換します。
	電源の不具合です。	電源不具合の原因を確認して解決します。
	接点プレートとチャージプレートが接続されていないため、製品を充電できません。	チャージプレートと接点プレートが接続されていることを確認します。接点プレートとチャージプレートを清掃します。
衛星の検索中	リファレンスステーションへの衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、製品が始動します。
		リファレンスステーションの設置を確認します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。
	製品への衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、製品が始動します。
		本製品と上空の間に、衛星信号に干渉する物体があるかを確認します。物体を除去するか、新たに設置を行って、作業エリアにこれらの物体がないようにします。「作業エリアを作成する 25 ページ」を参照してください。
衛星からの位置情報が不正確	リファレンスステーションへの衛星信号が弱くなっています。	リファレンスステーションの設置を確認します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。
	製品への衛星信号が弱くなっています。	本製品と上空の間に、衛星信号に干渉する物体があるかを確認します。物体を除去するか、新たに設置を行って、作業エリアにこれらの物体がないようにします。「作業エリアを作成する 25 ページ」を参照してください。

メッセージ	原因	対応措置
リファレンスステーションの通信の問題	本製品とリファレンスステーションの間に無線信号がありません。	製品とリファレンスステーションのペアリングを行います。
	リファレンスステーションが正しく設置されていません。	リファレンスステーションの設置を確認します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。
	すべての作業エリアで、本製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信できません。	すべての作業エリアで、本製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信しているかを確認します。受信していない場合は、新たにリファレンスステーションの設置または地図のインストールを行います。「 地図オブジェクトの設置 23 ページ」を参照してください。
		リピータとして動作するための 2 つ目のリファレンスステーションを設置します。本製品が無線信号を受信できることを確認します。詳細情報は、 Husqvarna 担当者までお問い合わせください。
	電源の不具合です。	リファレンスステーションの電源不具合の原因を調べて修正してください。
		リピータとして動作するための 2 つ目のリファレンスステーションを設置します。詳細情報は、 Husqvarna 担当者までお問い合わせください。
	リファレンスステーションでエラーが発生し、LED インジケータが赤色で点滅しています。	リファレンスステーションの電源を切断し、再度接続してから、リファレンスステーションを再起動します。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
予期しない刈高調整	刈高調整が動きません。	刈高調整を点検し、芝や異物を取り除いてください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
Limited cutting height range (刈高範囲の制限)		
刈高の問題		
Cutting height blocked (刈高ブロック)		
カッティングデッキが正しい位置にありません	カッティングデッキが正しく取り付けられていません。	カッティングデッキが正しく取り付けられ、レバーが正しい位置にあることを確認します。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
	カッティングデッキがサービス位置になっています。	カッティングデッキが切断位置にあることを確認します。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Destination not reachable</i> (移動先到達不可)	チャージステーションと作業エリアまたはメンテナンスポイントの間に輸送経路がありません。	チャージステーションと作業エリアまたはメンテナンスポイントの間に輸送経路を作成します。
	輸送経路がブロックされており、本製品が作業エリア、チャージステーション、またはメンテナンスポイントに移動できません。	輸送経路がブロックされていないことを確認するか、輸送経路を削除して新しい輸送経路を作成します。
通過点が多すぎます	現在の作業エリアでは、通過点が多すぎます。	作業エリア、進入制限ゾーン、輸送経路を新たに設置して、使用する通過点を減らします。現在の作業エリアを複数の作業エリアに分割してください。
高すぎる電流	芝が高すぎる、密生しすぎている、傾斜が急すぎる場所で動作していたため、本製品が停止しました。	芝が短い水平な地面に本製品を置いて始動します。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
高すぎる内部電流		
高い内部出力損失		
高い充電出力損失	カuttingデッキのチャージプレートとチャージステーションの接点プレートの接触が良好ではありません。	カuttingデッキのチャージプレートとチャージステーションの接点プレートを磨いてください。
	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を始動します。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
高い内部温度	温度が高すぎる、芝が高すぎる、密生しすぎている、または傾斜が急すぎる場所で本製品が動作しています。	本製品を、日光から保護されている場所に置いて待機させてください。芝が短い水平な地面に本製品を置いて始動します。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
カuttingモーター (右／中央／左) が高温		
<i>Multiple reference stations</i> (複数のリファレンスステーション)	作業エリアの近くに複数のリファレンスステーションがあります。これにより、別のリファレンスステーションからの本製品の干渉が発生する可能性があります。	同じ問題が頻発する場合は、認定サービス販売店にご連絡ください。
<i>Invalid firmware configuration</i> (無効なファームウェア設定)	本製品のファームウェアが更新されていません。	本製品をチャージステーションに置いて、ファームウェアを更新します。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。
修正データがありません	Husqvarna® Cloud を介した EPOS™ の技術的な問題。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
	本製品に携帯電話接続がないため、修正データを受信できません。	本製品が動作するエリア全体が、携帯電話の通信可能範囲内にあることを確認してください。

7.3 情報と警告メッセージ

Husqvarna Fleet Services™ アプリの [Messages (メッセージ)] メニューに表示される情報メッセージは以下の表のとおりです。同じメッセージが頻発に表示される場合は、認定サービス代理店にご連絡ください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Cutting system imbalance</i> (カッティングシステムのアンバランス)	本製品がカッティングディスクの振動を検出しています。	ブレードとネジに損傷や摩耗がないか確認します。すべてのブレードが正しく取り付けられていること、ブレードディスクの各位置にブレードが1つのみ取り付けられていることを確認してください。
接続の問題	Automower® Connect モジュールの問題です。	本製品を再始動してください。アプリで Automower® Connect を無効にしてもう一度有効にします。1時間待ってから再始動します。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店にお問い合わせください。
<i>Wrong PIN code</i> (PIN コードの誤り)	入力された PIN コードが間違っています。入力に5回失敗すると、本製品は一定時間ロックされます。	正しい PIN コードを入力してください。PIN コードが正しくない場合は、アプリの Web アドレスを使用して、登録した電子メールアドレスに PIN コードを送信します。電子メールアドレスを登録していない場合は、認定サービス代理店にお問い合わせください。
<i>GPS navigation problem</i> (GPS ナビゲーションの問題)	電子関連またはファームウェア関連の一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
<i>Ultrasonic problem</i> (超音波の問題)	超音波センサーが汚れているか、ブロックされています。	超音波センサーを清掃します。
	電子関連またはファームウェア関連の一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。

7.4 チャージステーションの LED インジケータランプ

設置が完全に機能している場合、チャージステーションのインジケータランプは緑色で点灯または点滅している必要があります。別の色になっている場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従ってください。

www.husqvarna.com で詳しいヘルプを参照できます。さらに支援が必要な場合は、認定サービス代理店にお問い合わせください。

ランプ	ステータス
緑色の点灯	良好な信号。
緑色の点滅	信号は良好であり、ECO モードが有効になっています。「ECO モード 29 ページ」を参照してください。
赤色の点滅	チャージステーションのアンテナの中断認定サービス代理店にご連絡ください。
赤色の点灯	回路基板の不具合、またはチャージステーションに不適切な電源が接続されています。不具合は必ず認定サービス技術者が修正してください。認定サービス代理店にご連絡ください。

7.5 症状

本製品が正常に動作しない場合は、下の症状表を参照してください。

症状	原因	対応措置
本製品がチャージステーションに入ることができない。	チャージステーションが水平な場所に設置されていません。	チャージステーションは、平らな場所に設置してください。「チャージステーションの設置場所について 15 ページ」を参照してください。
	チャージステーションが作業エリアから離れすぎています。	新しい作業エリアを作成するか、チャージステーションを移動します。
本製品が指定していない時間に動作する。	本製品の時刻と日付を設定する必要があります。	時刻と日付を設定します。「Time & date (時刻 & 日付) 29 ページ」を参照してください。
	本製品の時刻と日付が正しく設定されていません。	
	動作の開始時刻と終了時刻が正しくありません。	スケジュール設定を変更してください。「スケジュール 28 ページ」を参照してください。
本製品が振動する。	ブレードが損傷しているため、カッティングシステムのバランスが取れていません。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。「ブレードおよびブレードディスクの交換 37 ページ」を参照してください。
	同じ位置のブレードが多すぎるため、カッティングシステムのバランスが取れていません。	ネジに対してブレードが 1 枚だけ取り付けられていることを確認してください。
	異なる厚さのブレードが製品に取り付けられています。	ブレードの厚さが異なっているかを確認し、必要に応じてブレードを交換します。
製品は動作していますが、ブレードディスクは回転していません。	本製品がチャージステーションに移動しています。	本製品の通常の動作です。本製品がチャージステーションに移動しているとき、ブレードディスクは回転しません。
1 回の充電で持続する本製品の動作時間が通常よりも短い。	草などの異物が原因でブレードディスクが詰まっています。	ブレードディスクを取り外して清掃してください。「カッティングデッキとブレードディスクの清掃方法 37 ページ」を参照してください。
	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。「バッテリー 39 ページ」を参照してください。
	芝が高くて厚みがある状態です。	刈高を上げ、芝が短くなったら下げます。
作動時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。「バッテリー 39 ページ」を参照してください。

症状	原因	対応措置
本製品がチャージステーションで数時間停止している。	スケジュール設定が行われているため、または「 <i>Park until further notice</i> (更なる通知まで駐車)」が選択されているため、本製品は駐車しています。	スケジュール設定を変更するか、本製品を始動します。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
十分芝刈りされない。	本製品の作動時間が短く設定されています。	作動時間を増やしてください。「スケジュール 28 ページ」を参照してください。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアを限定するか、作動時間を延長してください。「スケジュール 28 ページ」を参照してください。
	ブレードが鈍くなっています。	すべてのブレードを交換します。「ブレードディスクのブレードを交換する方法 38 ページ」を参照してください。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を上げ、芝が短くなったら下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が堆積しています。	堆積した草を取り除き、本製品を清掃します。「カッティングデッキとブレードディスクの清掃方法 37 ページ」を参照してください。
	カッティングデッキが補正されていません。	販売店にお問い合わせください。
本製品はチャージステーションに入っているが、バッテリーが充電されていない。	本製品がチャージステーションに接続されていません。	ペアリング操作を行い、チャージステーションと製品を接続します。
	チャージステーションで充電されていません。	メインケーブルを外して、チャージステーションに接続して再起動すると、自動的に充電が開始されます。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。
追加のモバイルデバイスと本製品を接続できない。	Bluetooth® で同時に本製品に接続できるモバイルデバイスは 1 つだけです。	接続された他のすべてのデバイスで Automower® Connect アプリを閉じてください。問題が解決しない場合は、接続されたモバイルデバイスをオフにして再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

症状	原因	対応措置
以前は携帯電話接続があったが、現時点では携帯電話接続がない。	携帯電波の接続に問題があります。	• エリアが携帯電波の範囲内であることを確認してください。 • アプリで Automower® Connect を無効にしてもう一度有効にします。1 時間待ってから再始動します。 • 本製品を再始動してください。 • アプリに新しいファームウェアがある場合はインストールして最新のファームウェアにしてください。 • Husqvarna Fleet Services™ アプリと Automower® Connect アプリの最新バージョンがインストールされていることを確認してください。 • 問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

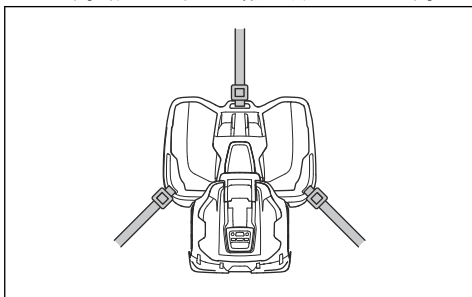
8 搬送、保管、廃棄

8.1 輸送の安全注意事項

- 本製品の輸送には、認証を受けた輸送車両を使用してください。
- 市場の国または地域の規制によって、製品の輸送が制限される可能性があります。
- 輸送車両の運転者は、輸送中に本製品を安全に固定する責任があります。「搬送のために本製品を安全に取り付ける方法 52 ページ」を参照してください。

8.1.1 搬送のために本製品を安全に取り付ける方法

- 本製品を 3 本のストラップ（本製品のフロントハンドルに 1 本、各サイドハンドルに 1 本）で固定します。各ストラップの最大の力は 300 N です。



8.2 本製品の保管方法

- 製品を完全に充電します。「バッテリーの充電 32 ページ」を参照してください。
- 本製品をオフにします。「本製品をオフにする 32 ページ」を参照してください。
- 製品を清掃します。「製品の清掃 37 ページ」を参照してください。
- 本製品は、乾燥した霜の降らない場所に保管してください。
- 本製品のすべてのホイールを水平な場所に置きます。

注記： チャージステーションを屋外に置いておく場合は、ケーブルを外さないでください。

8.3 バッテリーの輸送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- 該当するすべての国内規制に従ってください。

- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。

8.4 廃棄

- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- バッテリーの取り外し方法については、バッテリーの取り外し方法 52 ページを参照してください。

8.4.1 バッテリーの取り外し方法

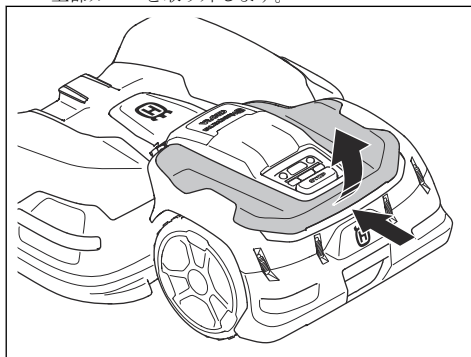


警告： 保護グローブおよび保護靴を着用してください。

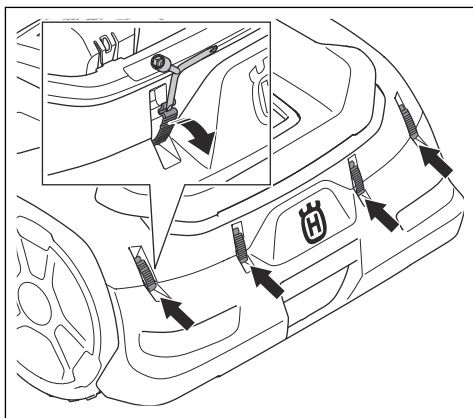


注意： バッテリーは、製品を廃棄するときのみ取り外してください。保証シールを剥がすと、Husqvarna の保証は適用されません。

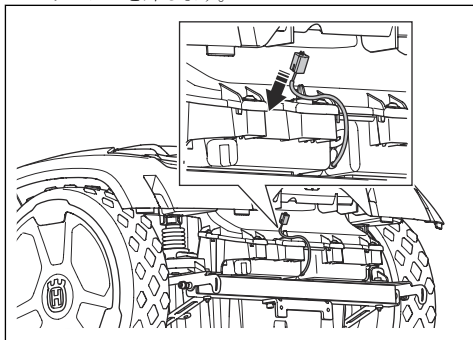
1. 上部カバーを取り外します。



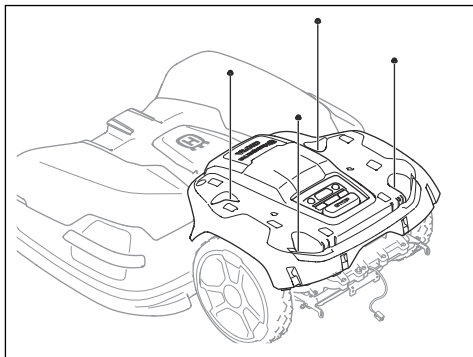
2. コンビツールのマイナスドライバーでクリップを緩め、リヤバンパーを取り外します。



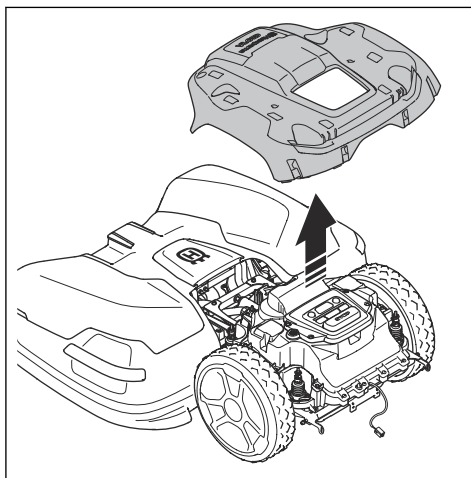
3. ケーブルを外します。



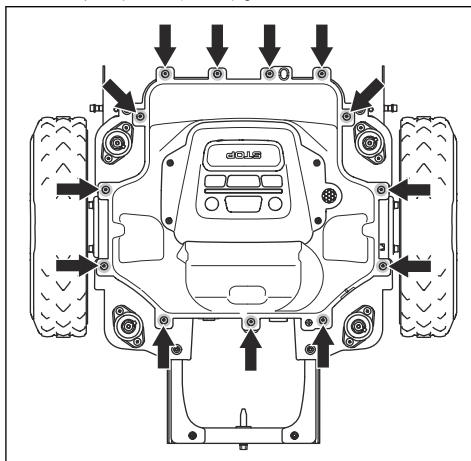
4. ナット 4 個を取り外します。



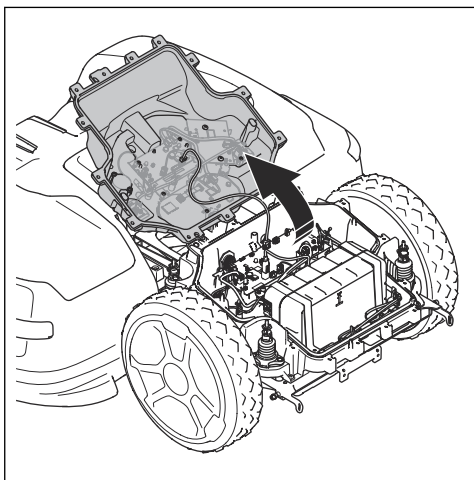
5. 本製品の本体を取り外します。



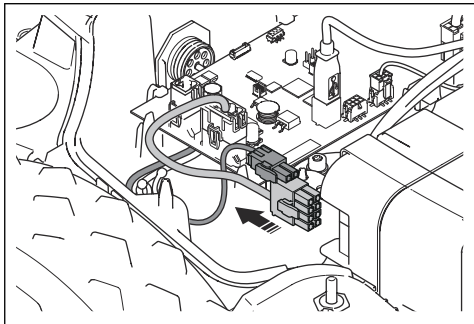
6. 13 本のネジを外します。



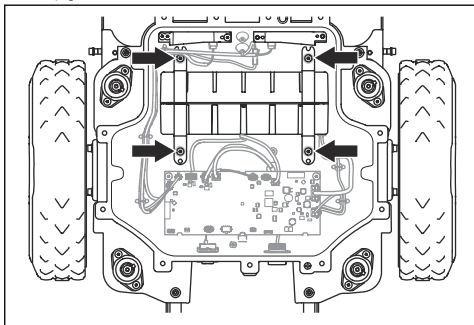
7. シャーシの上部を慎重に折り畳みます。



8. バッテリーから 2 本のケーブルを外します。



9. バッテリーブラケットの 4 本のネジを取り外します。



10. 本製品からバッテリーを外します。

9 主要諸元

9.1 主要諸元

システム	CEORA™ 544 EPOS		CEORA™ 546 EPOS	
	CEORA™ CS4		CEORA™ CS4	
	CEORA™ RZ 43L	CEORA™ RZ 43M	CEORA™ RZ 43L	CEORA™ RZ 43M
寸法、ドライブユニットおよびカッティングデッキ				
長さ、cm/インチ	124/48.8	124/48.8	124/48.8	124/48.8
幅、cm/インチ	108/42.5	108/42.5	108/42.5	108/42.5
高さ、cm/インチ	44/17.3	44/17.3	44/17.3	44/17.3
質量 ¹⁰ 、kg/lb	73/161	72/160	73/161	72/160
芝刈り ¹¹				
対応エリア - 最大 72、m ² /エーカー、標準のクオリティ	57000/14.1	60000/14.8	72000/17.8	75000/18.5
対応エリア - 標準 48、m ² /エーカー、プロのクオリティ	38000/9.4	40000/9.9	48000/11.9	50000/12.4
対応エリア - スポーツ 24、m ² /エーカー、プロスポーツのクオリティ	19000/4.7	20000/4.9	24000/5.9	25000/6.2
1 時間あたりの面積、充電なし、m ² /エーカー	1350/0.33	1350/0.33	1800/0.44	1800/0.44
芝刈り中の消費電力、平均、W	270	210	310	250
ブレードモーターの最大回転数、r/min	2800	2800	3000	3000
最大使用時での平均エネルギー消費量、kWh/月	140	115	150	130
芝刈り時間、平均、分	225	300	200	250
充電時間、平均、分	150	150	150	150
最狭の通過可能経路、m/フット	3/9.8	3/9.8	3/9.8	3/9.8
設置範囲内の最大勾配、%	20	20	20	20
仮想境界の最大勾配、%	15	15	15	15

¹⁰ 一部の製品には、重量 2 kg/4.4 lb のホイールブラシが付属しています。

¹¹ ブレードの種類や状態、芝の成長や水分は、対応エリアに影響を与える可能性があります。刈高が 25 mm 未満の場合、対応エリアは約 10 %減少します。

システム	CEORA™ 544 EPOS		CEORA™ 546 EPOS	
	CEORA™ CS4		CEORA™ CS4	
	CEORA™ RZ 43L	CEORA™ RZ 43M	CEORA™ RZ 43L	CEORA™ RZ 43M
音響データ ¹²				
知覚騒音レベル、dB (A)	72	69	72	72
計測音響騒音レベル、dB (A)	70	68	70	69
騒音排出の不確定性 K _{WA} (dB (A))	2	1	5	1
使用者の耳における音圧騒音レベル ¹³ 、dB (A)	62	60	62	61
ドライブユニット		CEORA™ 544 EPOS	CEORA™ 546 EPOS	
寸法				
長さ、cm／インチ	67/26.4		67/26.4	
幅、cm／インチ	72/28.3		72/28.3	
高さ、cm／インチ	44/17.3		44/17.3	
質量 ¹⁴ 、kg/lb	38/84		38/84	
バッテリー				
リチウムイオンバッテリー 36.3V、49 Ah、品番	593 78 54-01		593 78 54-01	
リチウムイオンバッテリー 36.9V、48 Ah、品番	593 78 54-02、593 78 54-03		593 78 54-02、593 78 54-03	
製品データ				
速度、km/h / mph	2.7/1.7		3.6/2.2	
IP コード	IPX5		IPX5	

¹² 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。ただし、ISO 11094:1991 に従って測定される知覚騒音レベルを除く。

¹³ 音圧騒音の不確実性 K_{pA} 、2~4 dB (A)。

¹⁴ 一部の製品には、重量 2 kg/4.4 lb のホイールブラシが付属しています。

カッティングデッキ	CEORA™ RZ 43L	CEORA™ RZ 43M
寸法		
長さ、cm／インチ	78/30.7	78/30.7
幅、cm／インチ	108/42.5	108/42.5
高さ、cm／インチ	34/13.4	34/13.4
質量、kg／ポンド	35/77	34/75
カッティングシステム		
カッティングシステム	回転式ブレード 5 個付きディスク (3 枚)	回転式ブレード 5 個付きディスク (3 枚)
刈高 ¹⁵ 、mm／インチ	10～60/0.4～2.4	20～70/0.8～2.8
刈幅、cm／インチ	68/26.8	68/26.8
IP コード	IPX5	IPX5
ブレード	Automower® 標準ブレード、Automower® Enhance HSS ブレード	Automower® 標準ブレード、Automower® Enhance HSS ブレード

チャージステーション	CEORA™ CS4
寸法	
長さ、cm／インチ	151/59.4
幅、cm／インチ	98/38.6
高さ、cm／インチ	33/13.0
質量、kg／ポンド	15.5/34.2
電気系統	
電源 (36V DC)、V AC	100/240
チャージステーション用メインケーブル、長さ m／フィート	3/9.8
充電電流、A DC	12
チャージステーションの電源装置のタイプ ¹⁶	ADP-500BR XX
チャージステーションの IP コード	IPX4
電源装置の IP コード	IPX44
チャージステーションのワイヤーアンテナ	
動作周波数帯、Hz	100/80000
最大磁界、dBuA/m	82
最大無線周波電力 ¹⁷ 、mW @60m	<25 mW @60 m

¹⁵ 土壌の種類、芝の品種、表面の種類によって、刈高が異なる場合があります。

¹⁶ XX および YY は、市場分類のための英数字または空白文字です。技術的な差異はありません。

¹⁷ 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。

対応周波数帯	
Bluetooth® 周波数帯	2400.0～2483.5 MHz
Automower® Connect 2G	GSM 850 MHz、E-GSM 900 MHz、DCS 1800 MHz、PCS 1900 MHz
Automower® Connect 4G	周波数帯 1 (2100 MHz)、周波数帯 2 (1900 MHz) 周波数帯 3 (1800 MHz)、周波数帯 4 (1700 MHz)、周波数帯 5 (850 MHz)、周波数帯 8 (900 MHz)、周波数帯 12 (700 MHz)、周波数帯 13 (700 MHz)、周波数帯 18 (850 MHz)、周波数帯 19 (850 MHz)、周波数帯 20 (800 MHz)、周波数帯 25 (1900 MHz)、周波数帯 26 (850 MHz)、周波数帯 27 (850 MHz)、周波数帯 28 (700 MHz)、周波数帯 66 (1700 MHz)、周波数帯 71 (600 MHz)、周波数帯 85 (700 MHz)
SRD868 (欧州)	863～870 MHz
SRD915 (北米)	902～928 MHz
SRD915 (オーストラリア)	915～928 MHz
SRD915 (ニュージーランド)	915～928 MHz

出力クラス		
Bluetooth® 出力電力	8 dBm	
Automower® Connect 2G	出力クラス 4 (GSM/E-GSM)	33 dBm
	出力クラス 1 (DCS/PCS)	30 dBm
	出力クラス E2 (GSM/E-GSM)	27 dBm
	出力クラス E2 (DCS/PCS)	26 dBm
Automower® Connect 4G	出力クラス 3	23 dBm
SRD868 (欧州)	13 dBm	
SRD915 (北米)	13 dBm	
SRD915 (オーストラリア)	13 dBm	
SRD915 (ニュージーランド)	13 dBm	

リモコン、無線送信機、ヒアリンググループ、地中の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性は完全には保証されません。

本製品は英国またはチェコ共和国で製造されています。シリアルプレートの情報を参照してください。「J」を参照してください。

9.2 登録商標

Bluetooth® マークとロゴは、Bluetooth SIG, inc. が所有する登録商標です。当該マークの使用について、Husqvarna は、ライセンスの許諾を受けています。

10 日本市場に適用可能

10.1 コンプライアンス要件

Bluetooth® モジュールおよび携帯電話通信モジュールは、本製品に内蔵されています。これらには、認定されたサービス技術者のみがアクセスできます。

このロボット芝刈機に搭載された内部モジュールは次の法律に基づいて日本国内での使用が認められています：電波法 本機は、日本の電波法に適合しています。本機は改造できません。改造した場合、適合証明が無効になります。



R

202-SMG024



T

D210191003



Copyright © 2023 Husqvarna AB (publ.) All rights reserved.
Husqvarna and other product and feature marks are trademarks of Husqvarna Group.

www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1144555-79



2024-12-18